

消 防 年 報

平成22年版



浦 添 市 消 防 本 部

平成22年発行

ま え が き

1. この年報は、浦添市における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、浦添市の消防業務を広く紹介することをもって編集しました。
2. 統計資料は原則として暦年とし、予算関係については会計年度で収録し、必要に応じて収録期日をそれぞれ統計表上部に明示しました。

平成 22 年

浦添市消防本部

「浦添」のあゆみ

浦添の地名は、『おもろさうし』にみられる「うらおそい」に由来するといわれている。「津々浦々を襲う（諸国を支配する）ところ」が語源と考えられ、その転化が「ウラシイ」となり「浦添」の2字があてられたといわれている。

浦添はかつて、西暦1187年から1406年までの220年のあいだ舜天王統3代73年間、英祖王統5代90年間、察度王統2代57年間琉球の王都として繁栄していた。その頃は海外との交易、税制度、中国への留学など政治・経済をはじめ学問・芸術・文化が「ウラオソイ文化」として浦添城を中心に展開されたようである。

その後、王都は首里に移り、浦添は一間切となった。当時の浦添間切は仲間、安波茶、江曾（今の伊祖）、真比湊（牧港）、城間、屋富祖、親富祖、宮城、饒平名、仲西、小湾、勢理客、安謝（内間）、沢岬、前田、西原に我如古、宜野湾、神山、嘉数、謝名、大謝名、内泊、喜友名、新城、伊佐と棚原の27か村からなっていたが、1671年の宜野湾間切新設によって、我如古他9村が宜野湾間切に、棚原が西原間切に分離した。そして親富祖が屋富祖に、饒平名が宮城に合併され浦添間切は14か村となり、現在の市域の原形が形成された。

1897年、間切行政は番所から役場に改められ、1908年に近代的な村制が施行された。村制施行後、当山と経塚、次に港川と佐久川（大平）の屋取が字となり、18か字を画して村は純農村としてめざましい発展を遂げた。しかし、第二次大戦においては沖縄戦の天王山ともいえるべき必死の攻防戦が浦添城址を中心とした地域で展開され住家をはじめ、一木一草にいたるまで焼きつくされた。

戦後は、方々に分散していた村民の受け入れから始められ、1946年4月に村役場が再開し戦後復旧活動とともに農業を指向した再建活動が行われたが、住民の居住等土地利用上の活動は、すべて米軍の作戦遂行上利用価値がないと判断する地域に限って許された。こうしたなかで、1950年に第2兵站部隊が移駐してきたことに伴い、村は急速に変貌してきた。

1976年9月には計画的行政運営を図るため、市の将来の望ましいあり方を方向づける「基本構想」が決定され、①快適で住みよい浦添市、②教育の発展・文化の高揚をめざす浦添市、③平和で豊かな浦添市という3つの基本目標をもとに「てだこの都市・浦添」という基本構想が策定され将来像の実現に向けて着実に歩みだし、大きく前進してきた。

1988年には、「太陽とみどりあふれた国際性ゆたかな文化都市」の実現をめざして第二次浦添市総合計画がスタート、浦添市三大ビジョンとして、①ウラオソイロード構想…歴史とロマンあふれた都市空間、②マリントピア構想…海と陸をつないだ都市空間、③カルチャーロード構想…人々の出会いと交流をより文化的にたかめていく都市空間、また、1993年後期実行計画でプラス1として、市民参加と協働に支えられた豊かな福祉社会を築くため「ハートイン・うらそえ構想」が加えられ地域の特性を活かしたうるおいのある都市づくりを目指してきました。

さらに、2001年に第三次浦添市総合計画を策定し、前期基本計画に基づき「万人でにぎわう生活創造都市」、「未来へはばたく交流文化都市」、「ハートがかよう健康福祉都市」、「安らぎにみちた快適環境都市」の4施策を基軸に、市民・企業・行政が一体となって様々な施策を展開してきました。この前期基本計画は5年目で達成状況を総括し、実績・評価を踏まえ、社会経済情勢の変化や市民ニーズに応じた、まちづくりの目標と方向性を示すため、2010（平成22）年度を目標とした「第三次浦添市総合計画後期基本計画」を新たに策定しました。

位置と地勢

浦添市は、沖縄本島の南側に位置し、東シナ海に面する西海岸沿いにある。東に西原町、南に那覇市、北東に宜野湾市が隣接しています。市域（飛地を含む）は、東西 8.4km、南北 4.6km で、北を頂点として南西と南東に広がった扇状の形をしており、総面積は 19.09k m²で、そのうち 14.4%を米軍施設（牧港補給基地）が占有しています。

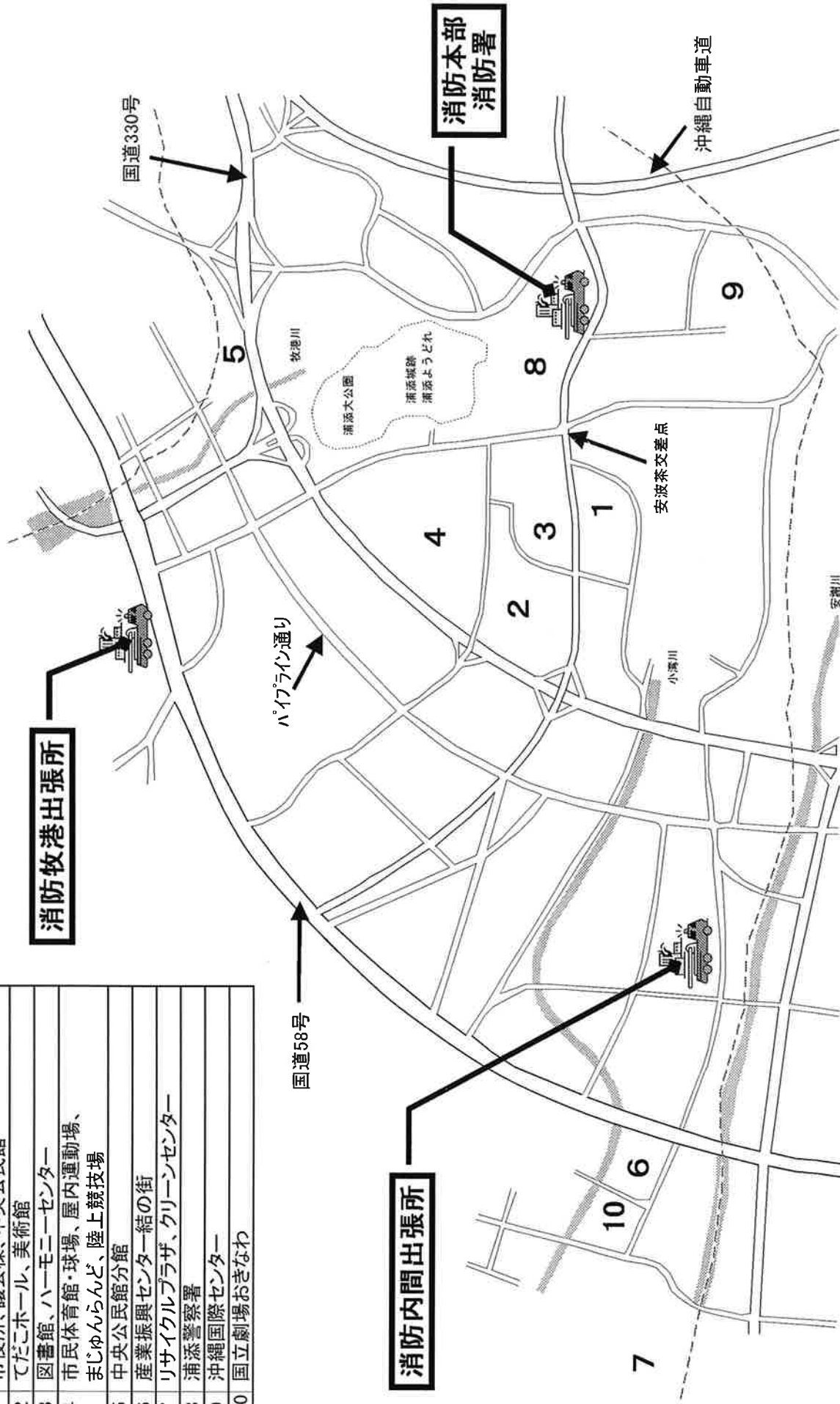
沖縄本島を南北に結ぶ幹線道路である国道 58 号が市の西側、国道 330 号が東側を走っており、交通上の重要な拠点となっています。

市の地勢は、市域の東側に沖縄本島を縦断する丘陵が細長い状態で横たわっており、その丘陵から直角の方向で一つの細い丘陵が市域のやや北側を通して西方向へゆるやかに傾斜し、海岸沿いまで続いています。地形をみると、市域の中間部から東側は標高 60m から 140m の丘陵が波状となって激しい起伏を呈し、西側にかけては標高 50m 内外の高さから西海岸へ比較的起伏のゆるやかな状態で傾斜しています。したがって、市を通る 3 つの河川は、いずれも市の境界線境界を上域として西流し、東シナ海にゆるやかにそそいでいます。



浦添市マップ

1	市役所、議会議、中央公民館
2	てだこホール、美術館
3	図書館、ハーモニセンター
4	市民体育館・球場、屋内運動場、まじゅらん、陸上競技場
5	中央公民館分館
6	産業振興センター結の街
7	リサイクルプラザ、クリーンセンター
8	浦添警察署
9	沖縄国際センター
10	国立劇場おきなわ



目 次

総務関係

消防の沿革	1
消防庁舎概要	1 3
各課、署の事務分掌	1 4
平成 2 2 年浦添市消防組織図	1 6
職員の勤務体制	1 7
歴代消防隊長・団長、消防長	1 9
職員配置状況	1 9
職員階級別勤続年数	2 0
職員階級別年齢	2 1
職員教育訓練状況	2 2
消防力の整備指針	2 3
平成 2 2 年度消防予算	2 4
一般会計と消防費の推移	2 5
年度別・人口 1 人当り・世帯当り消防費	2 5
消防団員階級別年齢	2 6
消防団員階級別勤務年数	2 6
過去 5 年間の人口・世帯の推移	2 7
消防団員定員・実員及び報酬・費用弁償	2 7
過去 5 年間の消防職員、団員 1 人当りの人口・世帯数	2 7

警防関係

現有消防車両等の配置状況	2 9
超短波無線電話配置状況	3 0
電波型式	3 0
警防波・救急波系統図	3 2
地域別消防水利	3 3
各種災害等出場状況	3 4
過去 5 年間の救急出場・火災出動件数	3 4
事故別による救助出動及び活動状況	3 5
救助隊が保有する主な救助器具	3 5
消防訓練等実施状況	3 6
業務出動件数	3 6

救急関係

署・所別救急出場件数	37
署・所別救急搬送人員	37
現場到着及び病院収容平均所要時間	37
事故種別・傷病程度別搬送人員	38
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	38
事故種別・男女別搬送人員	39
医療機関別・事故種別搬送人員	40
主な病院への搬送人員	40
曜日別・月別・救急搬送人員	41
事故種別搬送人員	42
管内管外別搬送人員	43
救急隊員の行った応急処置件数	43
事故種別・行政区別出場件数	44
資格別消防職員数	45
医療機関数	45
発生場所別搬送人員	45
過去5年間の事故種別救急出場件数	46
過去5年間の事故種別救急搬送人数	46
過去5年間の一般的な救急法講習会実施状況	47
救命講習会実施状況	47

予防関係

浦添市の火災概況	49
月別火災件数及び損害額	49
建物火災概要	50
過去5年間の火災件数及び損害額	50
用途別火災原因件数	51
過去5年間の火災原因件数	51
地域別・月別・火災発生件数	52
月別・時間別・火災発生件数	52
気象別火災発生件数	53
用途別消防用設備等検査済証交付件数	54

用途別・階別防火対象物数	5 5
月別・用途別建築同意処理状況	5 6
地域別・年別建築同意件数	5 7
用途別点検結果報告状況	5 7
防火管理者選任、消防計画届出、自衛消防訓練及び立ち入り検査状況	5 8
危険物施設の状況	5 9
危険物許可等事務処理状況	5 9
浦添市防火委員会組織	6 0

總務關係



消 防 の 沿 革

年 月 日	摘 要
1950年2月3日 (昭和25年)7月17日	浦添村消防隊を組織する 琉球政府から消防三輪車(ポンプ付)並びに腕用手押しポンプ各1台貸与される
1951年3月7日	琉球政府から消火器(7本)配布される
1954年8月10日 (昭和29年)10月5日	消防三輪車並びに腕用手押しポンプを政府に返納 消防隊支部(各部落19ヶ所)強化の為、消防器具(バケツ、梯子、鳶口)等を配布する
1960年7月26日	琉球政府から消防用ジープ車(ポンプ付)1台譲渡
1962年12月24日	消防組織法改正により浦添村消防隊を浦添村消防団に改称
1963年3月1日 (昭和38年)11月4日	常勤消防団員(1人)配置 水槽付消防ポンプ自動車(1台)購入(いすゞ)
1965年1月14日 (昭和40年)7月20日	軍から消防用タンク自動車(1台)譲渡 常勤消防団員(1人)増員 計2人
1967年4月15日 (昭和42年)6月30日	水槽付半化学消防ポンプ自動車1台購入(トヨタ) 消防庁舎落成 延253.68㎡
1969年2月24日 (昭和44年)8月4日 9月1日 10月20日 12月21日	常勤消防団員(1人)増員、非常勤消防団員27人 常勤消防団員(5人)増員、非常勤消防団員27人 隔日勤務実施 琉球政府から譲渡されたジープ車を払い下げ、役所から国産ジープ車を購入改造 軍から譲渡されたタンク車を払い下げ、中古の国産車を購入改造
1970年7月1日 (昭和45年) 10月1日 2日	市昇格に伴い消防本部・署を設置、常勤消防団員を消防職員に改める 宮城義雄消防長就任(初代消防長) 消防職員11人 消防組織法改正(1970年9月22日立法171号)により消防業務(建築確認同意事務および危険物許認可事務)が警察局から移管される 上記に伴い、予防係に1人増員、消防職員14人、非常勤団員12人
1971年5月1日 (昭和46年)7月12日	那覇電報電話局浦添分局の開局と同時に消防専用電話119番設置 消防職員1人増員、消防長以下18人、非常勤団員12人

－総務関係－

年 月 日	摘 要
1972年5月15日 (昭和47年)6月1日 12月4日 11日	本土復帰 復帰に伴い救急業務が警察本部から市に移管される 消防職員7人増員 計25人(庶務1、予防3、警防14、救急7) 山之内製薬会社から救急自動車(2B型)寄贈 ジープ車を払い下げ、ワゴン車(指令車)を購入
1973年3月5日 (昭和48年)31日 5月21日 6月22日 9月1日	国庫補助により消防専用無線電話(基地局)、移動用3基設置 消防庁舎増築 52.80㎡(16坪) 消防職員4人増員 計29人(庶務2、予防4、警防15、救急8) 消防職員1人市長事務部局へ出向に伴い1人採用 消防職員3人増員 計32人(庶務2、予防4、警防17、救急8)
1974年3月15日 (昭和49年)4月10日 5月7日 6月1日 7月30日	県消防学校開校、第1期救急専科1人派遣 1人退職、補充採用1人、消防長以下32人 県消防学校第1期初任科2人派遣 消防職員7人増員 計39人(庶務2、予防4、警防33) 消防庁舎増築 55.88㎡(17坪)
1975年1月30日 (昭和50年)2月4日 21日 4月10日 6月16日 7月1日 8月15日	水槽付ポンプ自動車1台購入(国庫補助) 救急自動車(2B型)1台寄贈(日本損害保険協会) 消防専用移動用無線電話増設(国庫補助) 消防職員3人増員、計42人 本部今帰仁消防組合海洋博消防署へ1人派遣 本部今帰仁消防組合海洋博消防署へ2人派遣 消防職員2人増員 計44人
1976年2月1日 (昭和51年)5日	海洋博消防署派遣職員3人帰任 海洋博消防協会から消防機会器具(救助工作車、救助器具等)贈呈
1978年8月1日 (昭和53年)7日 12月26日	消防職員1人休職 臨時職員1人採用、庶務係へ配置(1979年3月31日まで) 指令車購入 トヨタクラウン2000ccセダン
1979年1月6日 (昭和54年)2月28日 5月1日 9月26日 10月27日	人命救助表彰2人 水槽付ポンプ自動車1台2,500ℓ、消防無線2期購入(国庫補助) 臨時職員1人庶務係へ配置(12月15日まで) 水槽付ポンプ自動車1台1,600ℓ寄贈(日本損害保険協会) 救急自動車(2B型)1台寄贈(日本消防協会)
1980年1月4日 (昭和55年)7月31日 8月12日 9月1日 11月1日	消防職員3人増員 計47人 消防職員1人退職 臨時職員1人任用し庶務係へ配置(1981年3月31日まで) 消防職員8人増員 計54人 浦添市消防署牧港出張所開所、所長外16人職員配置

年 月 日	摘 要
1981年2月14日 (昭和56年)3月11日 6月1日 11月19日	40m級はしご付消防ポンプ自動車購入(国庫補助) 消防無線電話装置移動用10W2基購入(国庫補助) 消防機構改革により次長制導入 市長事務部局から消防へ2人異動 計55人 水難救助用ボート(8人乗)1隻購入
1982年3月15日 (昭和57年)9月16日 12月28日	消防用器具積載車1台、指揮車1台購入(県補助) 無線機1W1基購入(日本消防協会) 小型動力ポンプ付水槽車(1,000ℓ)1台購入(国庫補助)
1983年1月6日 (昭和58年)2月28日 5月1日 25日 6月3日 10月11日 11月1日	人命救助表彰2人 無線機1W6基、5W1基、10W2基購入(県補助) 消防職員1人市長事務部局へ出向 計54人 人命救助表彰2人 人命救助表彰3人 臨時職員1人庶務係へ配置(1984年3月31日まで) 水道部から消防へ1人異動、消防長以下55人
1984年2月25日 (昭和59年)28日 4月1日 11月24日 26日	救急指令装置C型(電子式)1台購入(国庫補助) 小型動力ポンプ付積載車1台購入(県補助金) 人事異動により市長部局へ1人出向、1人受入 消防ポンプ車(CD-1型)購入(国庫補助) 人命救助表彰1人
1985年1月22日 (昭和60年)4月1日 7月5日	救急車(2-B型)購入(県補助) 機構改革により三課制(総務・予防・警防)設置 人事異動により市長事務部局へ1人出向、1人受入 人命救助表彰1人
1986年2月26日 (昭和61年)28日 11月1日 12月16日 26日	救急車(2-B型)購入(県補助) 人命救助表彰3人 消防職員4人増員 計59人 プレハブ事務室設置(予防課) 空気呼吸器8式、消防衣耐熱服6式購入(県補助) 予防鑑識車購入
1987年1月22日 (昭和62年)4月1日 7月22日 9月14日 10月1日	車庫鉄骨及びテント改修工事 消防職員1人増員、計61人 人命救助表彰6人 幼年消防クラブ結成 消防職員1人増員、計62人

年 月 日	摘 要
1988年1月14日 (昭和63年)3月25日 31日 4月1日 5月10日 7月20日 12月8日	水槽付ポンプ自動車(水-II型)1台、無線機10W1基購入(国庫補助) 無線機1W19基、10W5基購入(県補助) 宮城義雄消防長定年退職 市長事務部局から銘苅敏守消防長就任 機構改革により本部二課制(総務、予防)、消防署設置 人事異動、市長事務部局へ1人出向、2人消防に異動 計63人 消防職員1人退職 計62人 非常勤消防団長に宮城義雄氏任命 初期消火活動協力表彰 1人
1989年2月1日 (平成元年)3月30日 31日 4月1日 5月1日 6月15日 9月1日 27日 12月15日	中部市町村消防相互応援協定廃止 消防団員1人退団 計19人 救急車(ニッサン2B型)購入(県補助) 人事異動により公共施設管理公社へ1人出向、5人採用 計66人 消防団員1人入団、計20人 消防庁舎用地の取得について浦添市土地開発公社と覚書締結 指令車購入(ニッサンセドリック2,000cc) 水槽付ポンプ自動車2,000ℓ1台寄贈(日本損害保険協会) 空気ボンベ10式、予備ボンベ7本購入(県補助)
1990年1月30日 (平成2年)2月10日 3月1日 22日 4月1日 7月25日 8月31日 9月1日 30日 12月14日	水難救助艇(ジェットスキー)購入 財団法人日本消防協会から消防団へ表彰旗が授与される 初期消火活動協力表彰 5人 救助工作車購入(国庫補助) 消防職員4人採用 計70人 機構改革により防火クラブ担当(主査)設置 安全衛生委員会発足 コンプレッサー(救助用)購入 消防団員2人退団 計18人 消防団員2人入団 計20人 消防団員1人退団 計19人 救助用油圧スプレッダー購入(県補助)

年 月 日	摘 要
1991年3月31日 (平成3年)4月1日	消防団員4人退団 計15人 人事異動により水道局へ1人出向、市長事務部局から1人消防へ異動 消防職員2人採用 計72人 県消防学校へ研修教官1人派遣(比嘉 克美 司令補)
5月1日	消防副団長の制定 消防団員2人入団 計17人
15日	幼年消防クラブ4団体結成(5月15～24日) 計7団体
31日	消防団員1人退団 計16人
7月5日	婦人防火クラブ結成(16支部)
8月1日	消防団員1人入団 計17人
10月24日	財団法人日本消防士長協会から鼓笛隊セット伝達(第13回幼年消防全国大会)勢理客保育園幼年消防クラブ
1992年3月2日 (平成4年) 17日	初期消火活動協力表彰4人 消防庁舎用地を取得(面積11,727.68㎡)
25日	広報車(三菱パジェロ2,500ccディーゼル)購入(県補助)
30日	消防庁舎建築工事発注(面積2,608.40㎡)
31日	消防団員3人退団 計14人
4月1日	消防職員3人採用 計75人 機構改革により消防団担当、救急隊、工作救助隊、水難救助隊設置 消防団員定数条例の改正(26人)
1993年1月5日 (平成5年) 31日	新消防庁舎竣工(浦添市字前田1846番地の5) 消防団員2人退団 計24人
2月1日	消防団員1人入団 計25人
19日	財団法人日本消防協会から優良幼年消防クラブ団体表彰される (母と子の防火全国大会)あいのその保育園幼年消防クラブ
3月1日	旧庁舎看板降納式及び新庁舎看板掲示式 消防緊急通信指令施設入電式、新消防庁舎業務開始
3日	消防庁長官から優良消防機関として竿頭綬を受賞

年 月 日	摘 要
1993年3月24日 (平成5年) 31日 4月1日 27日 5月1日 6月7日 30日 10月21日 11月1日 11月9日	ボンベ積載車(三菱キャンターディーゼル)購入(県補助) 消防職員1人定年退職 計74人 人事異動により市長事務部局へ1人出向、市長事務部局から2人消防に異動、銘苅敏守消防長議会事務局へ異動、浦添市土地開発公社から松本秋松消防長就任、消防職員3人採用 計77人 機構改革により次長制導入 救急隊に救急救命士誕生 消防団員1人入団 計26人 消防本部新庁舎落成式 消防団員1人退団 計25人 財団法人日本消防協会から鼓笛隊セット伝達(ハイジ保育園幼年消防クラブ) 組織改革により次長制施行、消防長の階級を消防監へ 人命救助活動表彰 2人
1994年3月18日 (平成6年) 25日 31日 4月1日 5日 30日 5月1日 11月1日	沖縄県から優良消防機関として竿頭綬を受賞 緊急人員搬送車(日産シビアン29人乗)購入(県補助) 消防団員1人退団 計24人 人事異動、水道局へ2人出向、市長事務部局から2人消防に異動 消防職員3人採用 計80人 救急救命士養成のため、救急救命東京研修に職員1人派遣 消防団員1人退団 計23人 消防団員1人入団 計24人 消防職員1人勲奨退職 計79人
1995年1月1日 (平成7年) 3月6日 31日 4月1日 8月1日 9月1日 10月1日 11月9日	消防団員2人入団 計26人 広報車(三菱パシエロ2,500ccディーゼル)購入(県補助) 牧港出張所増改築(158.75㎡) 消防団員2人退団 計24人 人事異動により市長事務部局から1人消防に異動 消防職員2人採用(救急救命士2人) 計82人 消防学校へ研修教官1人派遣(仲原 勇 司令補) 消防団員2人入団 計26人 広報車(日産ADバン)1台寄贈(財団法人日本消防協会) 救急救命士養成のため、救急救命九州研修所に職員1人派遣 内間、勢理客狹隘地区防災訓練実施

年 月 日	摘 要
1996年1月9日 (平成8年)2月8日 3月11日 14日 22日 28日 31日 4月1日 10月14日 17日	人命救助活動表彰 2人 水槽付ポンプ自動車(水-II型)購入(国庫補助) 化学消防自動車(IV型)購入(国庫補助) 沖縄県から優良消防機関として表彰旗を受賞 消防用短波無線電話機9台購入(県補助) 高規格救急車(トヨタ2B型)1台寄贈(日本損害保険協会) 消防本部庁舎通信室増改築(59.55㎡) 消防職員2人勸奨退職 計80人 消防団員2人退団 計24人 人事異動により市長事務局局へ1人出向、市長事務局局から1人消防に異動、消防職員4人採用 計84人 救急救命士養成のため、救急救命九州研修所に職員1人派遣 勢理客、内間、仲西の各自治会にホース収納箱を設置
1997年3月6日 (平成9年)28日 31日 4月1日 5月1日 6月1日 10月23日 12月15日 19日	小型ユニック付資機材積載車購入(県補助) 水槽付ポンプ自動車(水-II型)購入(国庫補助) 消防団員1人退団 計23人 松本秋松消防長他1人勸奨退職 浦添商工会議所から赤嶺洋海消防長就任 消防職員2人採用 計85 消防団員1人入団 計24人 消防団員1人入団 計25人 宮城、牧港、屋富祖の各自治体に消火器収納箱を設置 泉小公園・美術館入口に耐震防火水槽2基設置(国庫補助) 水難救助車購入(いすゞ6t 4,500cc)
1998年2月28日 (平成10年)3月1日 11日 31日 4月1日 10月6日 11月5日	消防団員1人退団 計24人 消防団員2人入団 計26人 高規格救急自動車(2B高規格トヨタ3,400cc)購入(国庫補助) 赤嶺洋海消防長勸奨退職 浦添市土地開発公社から外間宏消防長就任 人事異動により市長事務局局へ1人出向 市長事務局局から1人消防に異動、消防職員4人採用 計89人 救急救命士業務運用開始式 前田、伊祖、経塚、小湾の各自治体に消火器収納箱を設置 神森小学校・港川小学校に防火水槽2基設置(国庫補助)

年 月 日	摘 要
1999年2月19日 (平成11年) 25日	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)購入(国庫補助) 鑑識車購入(県補助)
3月30日	浦添市消防署内間出張所着工(面積926.48㎡)
31日	消防職員1人勸奨退職 次長制廃止 消防団員1人退団 計25人
4月1日	人事異動により市長事務部局へ2人出向、市長事務部局から1人消防に異動、消防職員7人採用 計94人
8月31日	消防団員1人退団 計24人
9月1日	消防団員1人入団 計25人
20日	浦添小学校・浦城小学校に防火水槽2基設置(国庫補助)
11月1日	消防団員1人入団 計26人
12月3日	消防職員1人勸奨退職
6日	救命ゴムボート(てだこ2号)購入
13日	浦添市消防署内間出張所竣工
31日	消防団員1人退団 計25人
2000年1月14日 (平成12年)2月9日	浦添市消防署内間出張所開所、所長他19人職員配置 高規格救急自動車購入(防衛施設庁補助)
18日	水槽付ポンプ自動車(水Ⅱ型)購入(国庫補助)
25日	指揮車購入(県補助)
31日	消防職員1人勸奨退職
4月1日	消防職員2人採用 計94人
7月4日	九州・沖縄サミット警備に備え陽圧型化学防護服6着購入
13日	事務連絡車購入
19～24日	九州・沖縄サミット消防特別警戒実施 ポンプ隊(2隊×5人)、救急隊(2隊×3人)、予防警戒員2人 計18人派遣
10月30日	浦西団地内、内間西公園先市道に耐震防火水槽2基設置(国庫補助)
2001年2月2日 (平成13年) 16日	積載車購入(県補助) 小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)購入(国庫補助)
3月31日	消防団員1人退団 計24人
4月1日	消防職員3人採用 計99人
20日	外間宏消防長 退職
21日	市長事務部局から宮里親一消防長就任
6月1日	消防団員1人採用 計25人
10月1日	消防団員1人採用 計26人
11月3日	宮城義雄消防団長 勲五等瑞寶章受賞

年 月 日	摘 要
2002年2月14日 (平成14年)3月20日 31日 4月1日 8月23日 11月15日	はしご付消防自動車(30m級)購入(国庫補助) 資機材搬送車購入(県補助) 宮城義雄消防団長 退団 消防団員1人退団 計24人 消防職員2人採用 計99人 當間慶行消防団長就任 第31回全国消防救助技術大会へ職員派遣(名古屋市) 浦添市幼年・婦人防火大会実施
2003年1月7日 (平成15年)2月20日 3月31日 4月1日 8日 4月30日 5月1日 21日 23日 6月24日 8月18日 26日 9月18日 22日 10月28日 11月17日 12月6日	消防訓練塔落成式 ポンプ車購入(国庫補助) 消防職員1人勸奨退職 消防団員3人退団 計21人 消防職員2人採用 計99人 消防学校講師派遣(島袋 勉 司令補) 消防団員5人入団 計26人 救助救命士養成のため救急救命九州研修所に職員1人派遣 消防職員1人勸奨退職 人事異動により市長事務部局から1人消防に異動 浦添市婦人防火クラブ総会 第27回沖縄県消防救助技術指導会(陸上の部) 中部消防長会水難救助訓練 高規格救急自動車購入(防衛庁補助) 幼年消防クラブ結成式 消防団員1人退団 計25人 救急救命士免許取得(17人目) 幼年消防クラブ写生大会 消火栓5基増設 消防団員1人退団 計24人 久米島町女性防火クラブ・浦添市婦人防火クラブ交流会(久米島)
2004年1月6日 (平成16年)16日 2月20日	消防出初め式 消防団員1人退団 計23人 中部地区支部消防総合演習

—総務関係—

年 月 日	摘 要
2004年3月22日 (平成16年) 25日 31日 4月1日 6日 5月18日 25日 6月4日 7日 12月6日 31日	防火衣25着購入(県補助) 浦添市水難救助艇購入(SACO関係補助) 消防職員1人定年退職 人事異動により市長事務部局から1人消防に異動 救急救命士養成のため救急救命九州研修所に職員1人派遣 浦添市婦人防火クラブ総会 第28回沖縄県消防救助技術指導会(陸上の部) 第28回沖縄県消防救助技術指導会(水上の部) 中部消防長会水難救助訓練 救急救命士免許取得(18人目) 消防職員1人勸奨退職
2005年1月6日 (平成17年)2月18日 3月18日 4月1日 6日 15日 5月9日 23日 31日 6月30日 7月1日 9月9日	消防出初め式 中部地区消防総合訓練(結の街) 防火衣45着購入(県補助) 宮里親一消防長市長事務部局へ異動 市長事務部局から翁長盛正消防長就任 消防職員1人市長部局へ出向(防災担当) 消防職員3人採用 初の女性消防士採用(2人) 計99人 救急救命士養成のため救急救命九州研修所に職員1人派遣 消防団員1人入団 計24人 消火栓増設7基 婦人防火クラブ総会 第29回沖縄県消防救助技術指導会(陸上の部) 當間慶行消防団長退団 親富祖正市消防団長就任 消防団員1人入団 計25人 自動体外式除細動器(AED)本庁他5公共施設に設置
2006年1月5日 (平成18年)2月28日 3月20日 31日 4月1日	消防出初め式 消火栓増設2基 現場指揮車(25号)購入(県補助) 消防職員1人定年退職、5人勸奨退職 消防団員2人退団 計23人 消防職員2人採用、3人市長部局より帰任、計98人 消防学校講師派遣(名護 晃 司令補)

年 月 日	摘 要
2006年4月1日 (平成18年)5月1日 15日 6月2日 30日 9月30日 12月1日	消防団員1人入団 計24人 消防団員2人入団 計26人 浦添市婦人防火クラブ総会 第30回沖縄県消防救助技術指導会(陸上の部) 消防団員2人退団 計24人 消防団員2人退団 計22人 消防団員1人入団 計23人
2007年1月7日 (平成19年)3月12日 22日 31日 4月1日 5月1日 15日 6月1日 7月1日 10月19日	消防出初め式 広報車2号購入(県補助) 消火栓増設23基 翁長盛正消防長定年退職、消防職員3人定年退職、1人勸奨退職 消防団員1人退団 計22人 水道局から松堂哲夫消防長就任、消防職員4人採用、人事異動により 市長事務部局より1人、教育委員会より1人異動 計97人 消防団員3人入団 計25人 浦添市婦人防火クラブ総会 第31回沖縄県消防救助技術指導会(陸上の部) 消防団員1人入団 計26人 人命救助活動表彰7人
2008年1月7日 (平成20年)28日 3月24日 31日 4月1日 5月15日 23日 6月12日 26日 7月1日 8月30日 10月31日 11月16日 12月1日 16日	消防出初め式 エアーテント購入(県補助) AED5台購入(防衛省補助) 消防職員2人定年退職、1人勸奨退職、消防団員3人退団 計23人 消防職員3人採用 計97人 消防団員定数条例の改正(38名へ)、消防団員2人入団 計25人 消防学校講師派遣(小澤 剛 司令補) 浦添市婦人防火クラブ総会 第32回沖縄県消防救助技術指導会(陸上の部) あおい保育園幼年消防クラブ加入 てだこ4号(ジェットスキー)購入(単費) 消防団員4人入団 計29人 初期消火活動協力及び人命救助活動表彰5人 消防団員1人退団 計28人 第1回てだこキッズファイヤーフェスタ 消防団員1人入団 計29人 人命救助活動表彰1団体

－総務関係－

年 月 日	摘 要
2009年1月6日	消防出初め式
(平成21年)3月3日	緊急人員搬送車(8号)購入(県補助)
31日	松堂哲夫消防長定年退職、消防職員3人定年退職、1人勸奨退職
4月1日	社会福祉協議会から西原忍消防長就任、消防職員3人採用 計96人 消防団員1人入団 計30人
5月1日	消防団員2人入団 計32人
26日	消防団員1人退団 計31人 消防団員2人入団 計31人
3日	第33回沖縄県消防救助技術指導会(陸上の部)
7月1日	消防団員3人入団 計34人
8月1日	消防団員1人入団 計35人
9月1日	消防職員1人沖縄県消防広域化等研究協議会準備事務局へ出向(吉永靖 司令)
11月30日	消防団員1人退団 計34人
2010年1月5日	消防出初め式
(平成22年)3月1日	春の火災予防運動
3月31日	消防職員2人定年退職 消防団員1人退団 計33人
4月1日	消防職員2人採用 計96人 消防団員4人入団 計37人
5月16日	消防団員1人退団 計36人
6月6日	危険物安全週間
8月15日	第3回てだこキッズファイヤーフェスタ

消 防 庁 舎 概 要

(浦添市消防本部・署)

位 置	沖縄県浦添市前田二丁目14番1号
工 期	着工 平成4年3月31日 竣工 平成5年1月5日
敷 地 面 積	11,727.68㎡
延 べ 面 積	2,707.61㎡ (1階 1,234.75㎡ 2階 780㎡ 3階 653.20㎡) (1階女子仮眠室 39.66㎡)
構 造	鉄筋コンクリート3階建て
訓 練 塔 主 塔	199.900㎡ (コンクリート6階造)
副 塔	295.875㎡ (コンクリート3階造)
補助塔	108.100㎡ (コンクリート3階造)

(浦添市消防署牧港出張所)

位 置	沖縄県浦添市牧港五丁目4番12号
工 期	着工 昭和55年2月29日 竣工 昭和55年10月5日
敷 地 面 積	1,636.95㎡
延 べ 面 積	688.24㎡ (1階 359.14㎡ 中2階 17.50㎡ 2階280.85) (塔屋階 30.75㎡)
構 造	鉄筋コンクリート2階建て
訓 練 塔	鉄筋コンクリート造 (床面積17.50㎡ 高さ15m)

(浦添市消防署内間出張所)

位 置	沖縄県浦添市内間三丁目18番7号
工 期	着工 平成11年3月30日 竣工 平成11年12月13日
敷 地 面 積	1,695.00㎡
延 べ 面 積	926.48㎡ (1階 590.10㎡ 2階 336.38㎡)
構 造	鉄筋コンクリート2階建て

各課、署の事務分掌

総 務 課（総務係・警防係・救急救助係）

- （１） 消防職員の任免、配置、懲戒その他身分に関すること。
- （２） 消防職員の服務に関すること。
- （３） 条例、規則、規程その他例規に関すること。
- （４） 渉外事務に関すること。
- （５） 文書の收受及び発送並びに整理保存に関すること。
- （６） 公印の管理に関すること。
- （７） 消防職員の保健に関すること。
- （８） 消防庁舎の維持管理に関すること。
- （９） 消防統計及び編集に関すること。
- （10） 予算調整及び経理に関すること。
- （11） 消防職員の給与に関すること。
- （12） 消防職員の福利厚生に関すること。
- （13） 消防職員及び消防団員の公務災害補償に関すること。
- （14） 消防職員の服制に関すること。
- （15） 消防団の事務に関すること。
- （16） 表彰に関すること。
- （17） 補助金に関すること。
- （18） 消防職員の安全管理に関すること。
- （19） 消防施設等の整備に関すること。
- （20） 物品購入及び修繕に関すること。
- （21） 風水、火災その他災害の警戒防御に関すること。
- （22） 警防計画及び警防対策に関すること。
- （23） 消防通信機器の整備保全に関すること。
- （24） 消防自動車及び機械器具の整備保全に関すること。
- （25） 消防業務の総括に関すること。
- （26） 消防水利施設の設置計画及び対策に関すること。
- （27） 各種講習会の計画に関すること。
- （28） 消防自動車の登録及び車検に関すること。
- （29） 消防相互応援協定に関すること。
- （30） 消防通信業務に関すること。
- （31） 救急業務に関すること。
- （32） 救急業務の講習、計画及び実施指導に関すること。
- （33） 救急統計に関すること。
- （34） 浦添市火災予防条例（昭和 54 年条例第 1 号。以下「予防条例」という。）第 45 条に基づく届出の受理に関すること。
- （35） 警防及び救急に関すること。
- （36） 他の課に属さない事務に関すること。

予 防 課（予防係・指導係）

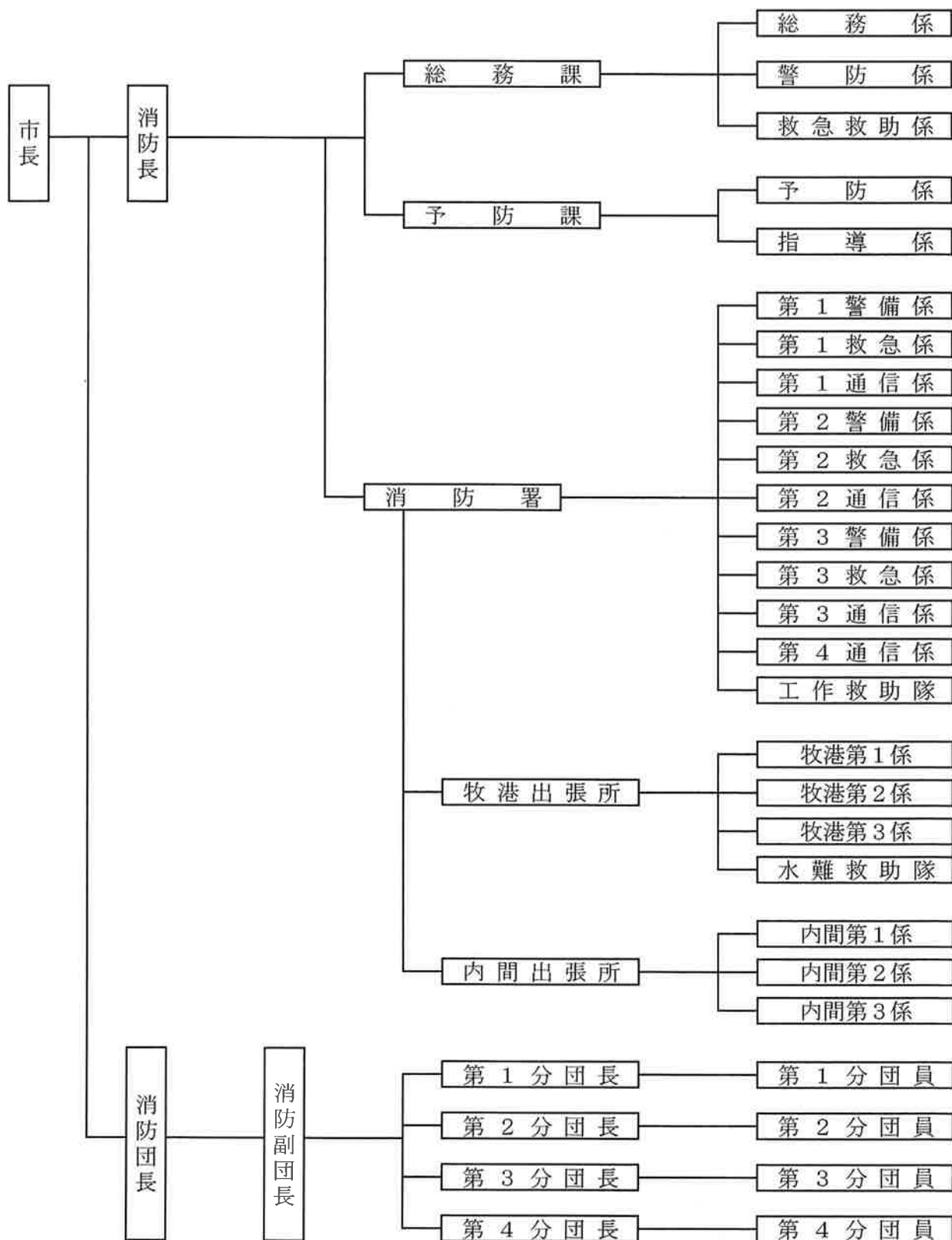
- （１） 防火対象物の防火管理に関すること。
- （２） 防火対象物の予防査察に関すること。
- （３） 建築物の同意事務に関すること。
- （４） 消防用設備等、維持管理の指導及び規制に関すること。
- （５） 消防用設備等の着工、設置及び完成検査に関すること。
- （６） 消防用設備等の点検報告の事務処理に関すること。
- （７） 予防条例に基づく諸届出の受理及び規制に関すること。（条例第４５条は除く。）
- （８） 火災原因及び損害の調査に関すること。
- （９） 火災現場保存に関すること。
- （１０） 災害による諸証明の発行に関すること。
- （１１） 火災予防の指導及び広報に関すること。
- （１２） 防火管理者の選任及び指導に関すること。
- （１３） 防火クラブ等の指導育成に関すること。
- （１４） 危険物施設等の許可、認可及び承認に関すること。
- （１５） 危険物施設等の火災予防査察に関すること。
- （１６） 準危険物及び特殊可燃物の貯蔵又は取扱いに関すること。
- （１７） 水素ガスを充填する気球の設置に関すること。
- （１８） 圧縮アセチレンガス及び液化石油ガスの貯蔵又は取扱いに関すること。
- （１９） 毒物及び劇物の貯蔵又は取扱いに関すること。
- （２０） 予防条例の危険物等の指導取締りに関すること。
- （２１） 火薬類の消費等の規制に関すること。
- （２２） その他危険物等の火災予防に関すること。

消 防 署（各警備係・救急係・通信係）

- （１） 風水、火災その他の災害等の警戒防御に関すること。
- （２） 水火災、救急、救助その他災害の受報及び出動指令に関すること。
- （３） 水火災、救急及び救助業務の実施に関すること。
- （４） 消防特別警戒の実施に関すること。
- （５） 消防技術及び教養訓練実施に関すること。
- （６） 防火対象物及び消防対象物の査察実施に関すること。
- （７） 消防水利の調査及び点検整備に関すること。
- （８） 消防機械器具、資器材等の点検及び運用に関すること。
- （９） 各種火入れ及び道路工事の事務処理に関すること。
- （１０） 自衛消防の訓練指導に関すること。
- （１１） 消防団員の訓練指導に関すること。
- （１２） 署員の出張及び時間外勤務等に関すること。
- （１３） 署員の事務引継ぎに関すること。
- （１４） 署員の諸会議に関すること。
- （１５） その他警備に関すること。

平成22年浦添市消防本部組織図

平成22年4月1日



職員の勤務体制

浦添市消防本部の勤務体制は、「毎日勤務」と「交代制勤務」の2つに分けることができ、それぞれ下記のような人員構成となっています。

平成22年4月1日現在(単位:人)

勤務体制別 課署所名		合 計	消 防 吏 員			その他職員
			毎日勤務	交代制勤務 (3部制)	交代制勤務 (4班2シフト制)	毎日勤務
合 計		96	17	65	12	2
消 防 本 部	消 防 長	1	1			
	総 務 課	11	9			2
	予 防 課	6	6			
消 防 署	本 署	42	1	29	12	
	牧港出張所	18		18		
	内間出張所	18		18		

1.毎日勤務

毎日勤務は、8:30から17:00までの、一般的な勤務体制です。正規の勤務時間は1日7時間45分で、1週間の勤務時間は38時間45分となっています。

1日の勤務時間は下記のとおりです。

8:30	12:15	13:00	17:00
勤 務 3:45分	休 憩 45分	勤 務 4:00	
勤務時間 3時間45分		4時間	計7時間45分

2.交代勤務制

① 交代勤務制は8:30から、翌日の8:30までの24時間勤務(1当務)で、3隊による3部制をとっています。正規の勤務時間は1当務24時間の内15時間30分で、その他の時は、休憩・仮眠時間が割り振られています。1当務の勤務時間は下記のとおりです。

8:30	12:15	13:00	17:00	17:45	22:00	5:00	8:30
勤務 3:45	休憩 45分	勤務 4:00	休憩 45分	勤務 4:15	仮眠 7:00	勤務 3:30	
勤務時間 3時間45分		4時間		4時間15分		3時間30分	
計 15時間30分							

② 4班2シフト制は8:30から17:00、16:30～翌日の9:00までの勤務で、4班による2シフト制をとっています。正規の勤務時間は日勤7時間45分(a)、夜勤15時間30分(b)です。

(a)

8:30 12:00 12:15 13:00 17:00

時間	勤務	休憩
8:30 - 12:00	勤務 3:45	
12:00 - 12:15		休憩 45分
12:15 - 13:00		
13:00 - 17:00	勤務 4:00	

勤務時間 3時間45分 4時間 計7時間45分

(b)

16:30 0:00 1:00 9:00

時間	勤務	休憩
16:30 - 0:00	勤務 7:30	
0:00 - 1:00		休憩 60分
1:00 - 9:00	勤務 8:00	

7時間30分 8時間 計 15時間30分

3.勤務サイクル

毎日勤務の勤務サイクルは、月曜日から金曜日までの週5日勤務で、土・日休みの週休2日制をとっています。交代制勤務は以下①②のとおりです。

① 職員を3部に分け、3週間を1サイクルとして当番・非番・週休のローテーションを繰り返す、3週間を平均して1週間当たり38時間45分の勤務時間としています。

※3部制ローテーションの例

日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
○ × □ ○ × □ ○	× □ ○ × □ ○ ×	□ ○ × □ ○ × ▲
勤務時間 46時間30分	31時間	38時間45分
計 116時間15分		

② 4班2シフト制は4週間に日勤6回(46時間30分)、夜勤7回(108時間30分)を平均して、1週間当たり38時間45分の勤務時間としています。

※4班2シフトの例

日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
▲ ● × □ ▲ ● ×	□ ▲ ● × □ ▲ ●	× □ ▲ ● × □ ▲	● × □ □ ● × □
勤務時間			

○は当務、●は夜勤、×は非番、□は週休、▲は日勤日

歴代消防隊長・団長

平成22年4月1日

歴代	職名	氏名	就任年月日	備考
初代	消防隊長	親富祖政吉	昭和25年2月3日	非常勤
初代	消防団長	西原清助	昭和33年7月1日	非常勤
二代	消防団長	宮城義雄	昭和41年7月20日	常勤
三代	消防団長	宮城義雄	昭和63年7月20日	非常勤
四代	消防団長	當間慶行	平成14年4月1日	非常勤
五代	消防団長	親富祖正市	平成17年7月1日	非常勤

歴代消防長

平成22年4月1日

歴代	職名	氏名	就任年月日	備考
初代	消防長	宮城義雄	昭和45年7月1日	消防団長兼務
二代	消防長	銘苅敏守	昭和63年4月1日	
三代	消防長	松本秋松	平成5年4月1日	
四代	消防長	赤嶺洋海	平成9年4月1日	
五代	消防長	外間宏	平成10年4月1日	
六代	消防長	宮里親一	平成13年4月21日	
七代	消防長	翁長盛正	平成17年4月1日	
八代	消防長	松堂哲夫	平成19年4月1日	
九代	消防長	西原忍	平成21年4月1日	

職員配置状況

平成22年4月1日

階級別 課・署別		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
消防本部	消防長	1								1
	総務課			6	3				2	11
	予防課			3	1	2				6
本部計		1	0	9	4	2	0	0	2	18
消防署	本署			8	9	8	6	11		42
	牧港出張所			3	7	2	2	4		18
	内間出張所			3	6	5		4		18
署計		0	0	14	22	15	8	19	0	78
計		1	0	23	26	17	8	19	2	96

職員階級別勤続年数

平成22年4月1日

階級 勤続年数	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	その他	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	14	16	(人)
1年未満							2		2														
2	1						3		4														
3							3		3														
4							4	2	6														
5				1	1		2		4														
6							3		3														
7									0														
8							2		2														
9							2		2														
10							4		4														
11							2		2														
12					7				7														
13					4				4														
14					2				2														
15				2	3				5														
16			2						2														
17				3					3														
18				3					3														
19				3					3														
20				2					2														
21				4					4														
22			2	3					5														
23									0														
24			1	2					3														
25				3					3														
26									0														
27			1						1														
28									0														
29									0														
30			1						1														
31年以上			16						16														
計	1	0	23	26	17	8	19	2	96														

職 員 階 級 別 年 齢

平成22年4月1日

職員平均年齢 40.2歳

階 級 年 齢	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他	計	1	2	3	4	5	6	7 人)
18歳～20歳									0							
21歳							1		1							
22歳									0							
23歳							4		4							
24歳							3		3							
25歳							1		1							
26歳							2		2							
27歳							5		5							
28歳									0							
29歳						1			1							
30歳					1	2	3		6							
31歳									0							
32歳						2			2							
33歳					1	1			2							
34歳					3	1			4							
35歳				1	4				5							
36歳				1	5	1			7							
37歳				1	2			1	4							
38歳				1	1				2							
39歳				2					2							
40歳				3					3							
41歳			1	4					5							
42歳				5					5							
43歳			1	1					2							
44歳				1					1							
45歳			2	3				1	6							
46歳				1					1							
47歳			1	1					2							
48歳									0							
49歳									0							
50歳			1	1					2							
51歳			1						1							
52歳			2						2							
53歳			2						2							
54歳			2						2							
55歳			3						3							
56歳									0							
57歳			1						1							
58歳	1		2						3							
59歳			4						4							
計	1	0	23	26	17	8	19	2	96							

職 員 教 育 訓 練 状 況

平成22年4月1日

派遣先		年度別	昭和 45年 ～ 平成 5年	平成 6年	平成 7年	平成 8年	平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	計
消防 大学 校	予 防 科	1											1						1	3
	警 防 科	7								1	1						1			10
	救 急 科	1																		1
	救 助 科	1																		1
	幹 部 科									1							1		1	3
救急救命士研修所		1	1	1	1		2	4	1	2	1	1	1	1	1	1		1		19
県 消 防 学 校	初 任 科	49	4	3	4	4	2	12	2	4	2	2		3	2	4	3	3		103
	予 防 科	17				1	1	2	1	2	1	2			1				1	29
	警 防 科	18	2	2		2	2	1	1		1	1	1		1					32
	救 急 科	135H	50																	50
		標準	2	3		4	4	4	1	4	2	4	4	3	3	3	3	3	6	53
		Ⅱ課	20	8	8	6														42
	救 助 科	15				2	2	2	2	2	1	2	1	1	1			1		32
	機 関 科	14																		14
	ポンプ操法 指導員研修					4	2	2	1	2		1	1	1			1	1	1	17
	初級幹部科	8				2		1		1		1		1			1			15
	中級幹部科	6					2		2				1		2			1		14
	水 難 救 助	11				4	2	1	2	2	2	2	1	1	1	1				30
	そ の 他	34						1	2	2	4	3	1	9	1	7	1	1		66
小 計		255	18	14	15	23	19	27	19	20	17	20	10	20	13	19	11	14		534

消防力の基準と現有の比較

施 設

平成22年4月1日

区 分 分 類	基 準 台 数 等	現 有	過 不 足
署 所	3	3	0
消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	5	-2
は し ご 自 動 車	1	1	0
化 学 消 防 自 動 車	1	1	0
救 助 工 作 車	1	1	0
救 急 自 動 車	4	4	0
小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	-	2	-
そ の 他 の 自 動 車	-	13	-

人 員

区 分 分 類	算 出 方 法	基 準 人 員	現 有 人 員
警 防 要 員	指 揮 車	1台×3人×3部×1.04	9
	ポ ン プ 車	7台×5人×3部×1.04	87
	は し ご 車	1台×5人×3部×1.04	12
	救 助 工 作 車	1台×5人×3部×1.04	15
	通 信 員	5	12
	小 計	101	50
救 急 隊 員	4台×3人×3部×1.04	37	27
予 防 要 員	消防施設整備計画実態調査により算定	14	6
そ の 他 の 消 防 吏 員		2	10
消 防 吏 員 (計)		154	93
そ の 他 の 職 員			2
合 計		154	96

※()内は乗換運用

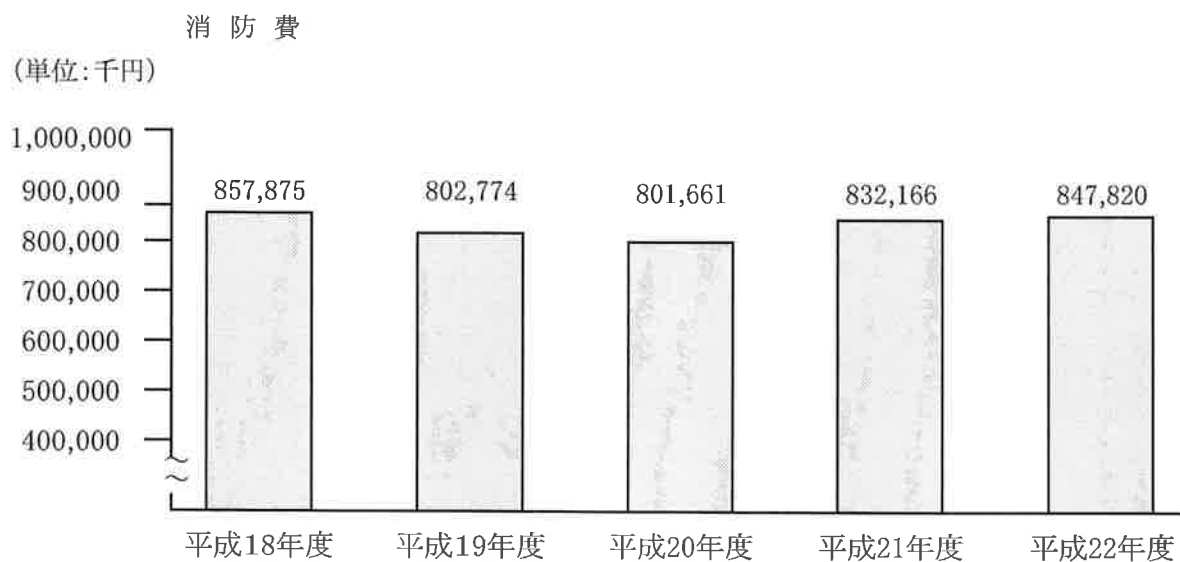
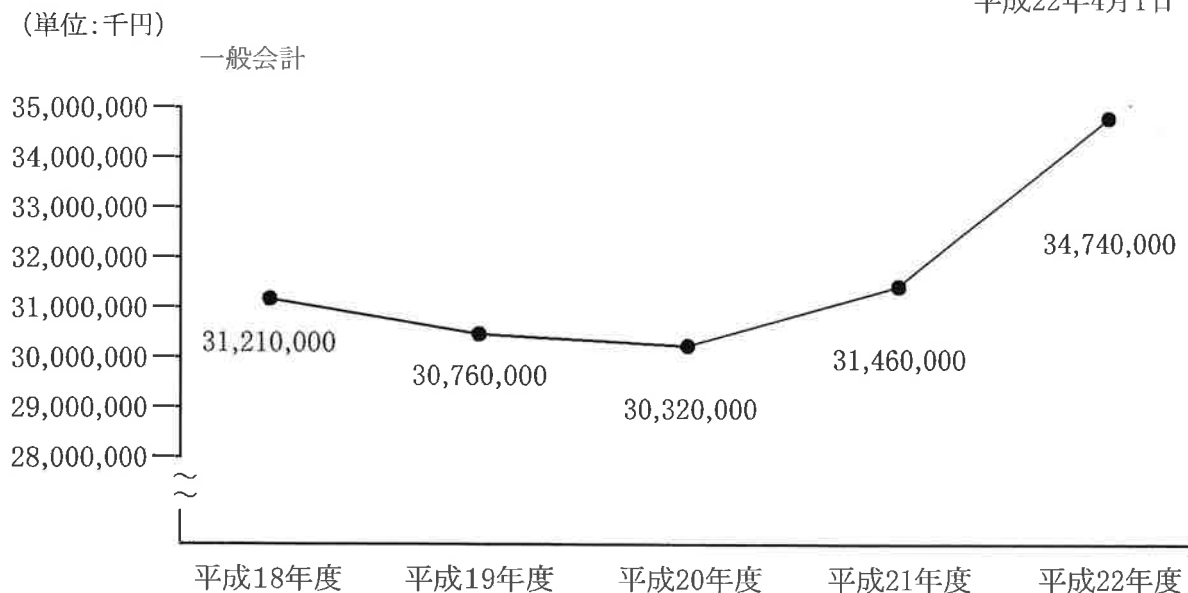
平成22年度消防予算

単位:千円

目	本 年 度	前 年 度	比 較	特 定 財 源			一 般 財 源	節	
				国庫支出金	県支出金	その他		区 分	金 額
常 備 消 防 費	767,377	747,100	20,277		23,750	7,617	736,010	2 給 料	351,600
								3 職 員 手 当 等	262,911
								4 共 済 費	92,793
								8 報 償 費	82
								9 旅 費	3,103
								11 需 用 費	9,331
								12 役 務 費	10,294
								13 委 託 料	27,489
								14 使用料及び賃借料	939
								18 備 品 購 入 費	3,946
非 常 備 消 防 費	7,541	8,374	△ 833				7,541	19 負担金・補助及び 交付金	4,889
								1 報 酬	1,320
								9 旅 費	2,846
								11 需 用 費	925
								12 役 務 費	4
								18 備 品 購 入 費	86
								19 負担金・補助及び 交付金	2,360
消 防 施 設 費	72,902	76,692	△ 3,790	29,500	3,532	90	39,780	11 需 用 費	19,524
								12 役 務 費	1,239
								13 委 託 料	3,226
								14 使用料及び賃借料	31
								15 工 事 請 負 費	4,029
								18 備 品 購 入 費	35,151
								19 負担金・補助及び 交付金	7,967
								27 公 課 費	1,735
計	847,820	832,166	15,654	29,500	27,282	7,707	783,331		

一般会計と消防費の推移(当初予算)

平成22年4月1日



年度別・人口1人当り・世帯当り消防費

平成22年4月1日

年 度	1人・世帯当り 消防費	人口1人当り 消防費(円)	1世帯当り 消防費(円)	算 定 基 礎		
				消防費(千円)	人 口	世 帯 数
平 成 1 8 年 度		7,945	21,243	857,875	107,980	40,384
平 成 1 9 年 度		7,385	19,510	802,774	108,707	41,146
平 成 2 0 年 度		7,330	19,105	801,661	109,373	41,960
平 成 2 1 年 度		7,546	19,491	832,166	110,285	42,695
平 成 2 2 年 度		7,646	19,502	847,820	110,886	43,473

消防団員階級別年齢

平成22年4月1日

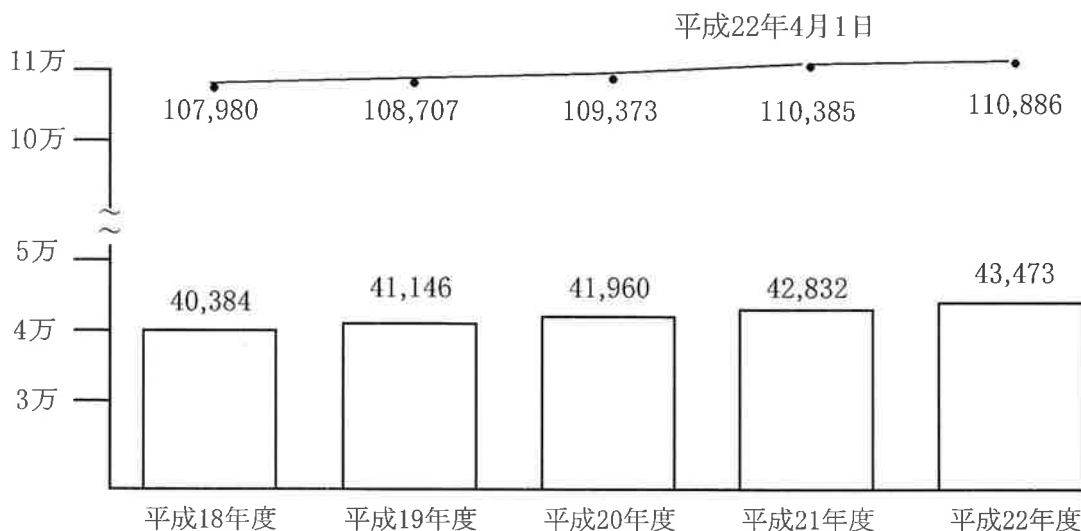
階級 年 齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
18 歳 ～ 20 歳							2	2
21 ～ 25							9	9
26 ～ 30							8	8
31 ～ 35							2	2
36 ～ 40							2	2
41 ～ 45			2				3	5
46 ～ 50		1	1				2	4
51 ～ 55							1	1
56 ～ 60			1				2	3
60歳以上	1							1
計	1	1	4	0	0	0	31	37

消防団員階級別勤続年数

平成22年4月1日

階級 勤 続	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
0 ～ 2 年							21	21
3 ～ 4 年							2	2
5 ～ 6 年	1							1
7 ～ 8 年							2	2
9 ～ 10 年							2	2
11 ～ 12 年							1	1
13 ～ 14 年		1						1
15 ～ 16 年							1	1
17 ～ 18 年			1				2	3
19 ～ 20 年								
21年以上			3				0	3
計	1	1	4	0	0	0	31	37

過去5年間の人口・世帯の推移



消防団員定員・実員及び報酬・費用弁償

平成22年4月1日

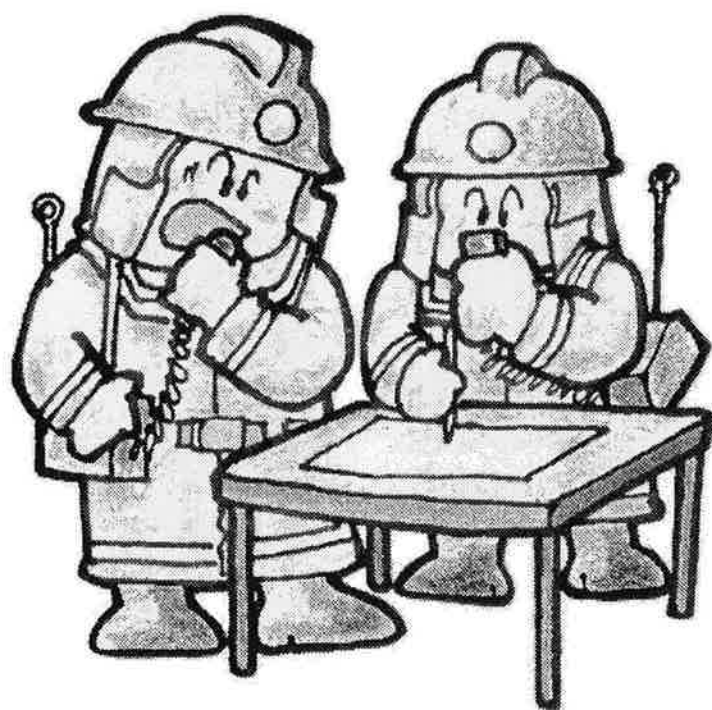
階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定員	1	1	4				32	38
実員	1	1	4				31	37
報酬年額	60,000円	48,000円	42,000円				36,000円	
出動費用弁償	4時間以内 2,500円				4時間を越えるとき 4,000円			

過去5年間の消防職員、団員1人当たりの人口・世帯数

平成22年4月1日

年度	1人あたり 人口・世帯		職員1人あたり		団員1人あたり		算定基礎			
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	職員数	団員数	人口	世帯数
平成18年度	1,113	416	4,499	1,682	97	24	107,980	40,384		
平成19年度	1,120	424	4,941	1,870	97	22	108,707	41,146		
平成20年度	1,127	432	4,755	1,824	97	23	109,373	41,960		
平成21年度	1,149	446	3,679	1,427	96	30	110,385	42,832		
平成22年度	1,155	452	2,996	1,174	96	37	110,886	43,473		

警 防 關 係



現有消防車両等の配置状況

平成22年4月1日現在

種別	呼称	配置場所	初年度 登録年月	使用年数	登録番号	車種	ポンプ 機装メーター	ポンプ性能 積載水量	備考
災害消防用広報車	2号車	本部	平19.3	3年	沖縄800す489	トヨタ			県補助
現場指揮車	25号車	本部	平18.3	4年	沖縄800さ97-12	トヨタ			県補助
緊急人員搬送車	8号車	本部	平21.2	1年	沖縄800す20-31	日産			県補助
鑑識車	15号車	本部	平11.2	11年	沖縄800さ9-10	トヨタ			県補助
事務連絡車	23号車	本部	平12.7	10年	沖縄500と58-61	スバル			一般財源
積載車	22号車	本部	平12.12	10年	沖縄800さ47-77	トヨタ		積載能力 2t	県補助
ポンベ	6号車	本部	平5.3	17年	沖縄88す27-83	三菱	新垣自動車工業	8型ポンベ72本積載	県補助
ポンプ	7号車	本部	平8.2	14年	沖縄88め11-66	いすゞ	GMいちはら	A-2級 2,000ℓ	国庫補助
ポンプ	11号車	本部	平11.2	11年	沖縄830す1-19	日野	森田ポンプ	A-2級 2,000ℓ	国庫補助
ポンプ	16号車	本部	昭63.1	22年	沖縄88す6	いすゞ	森田ポンプ	A-2級 2,000ℓ	国庫補助
水槽	13号車	本部	平19.2	3年	沖縄800は836	いすゞ	GMいちはら	B-2級 10,000ℓ	防衛庁補助
梯子	12号車	本部	平14.2	8年	沖縄830す1-22	日野	森田ポンプ	30M級 5連	国庫補助
救助工作車	10号車	本部	平2.3	20年	沖縄88め3-24	日野	森田ポンプ	15KW発電機	国庫補助
緊急人員搬送車	17号車	本部	平6.3	16年	沖縄88す34-28	日産			県補助
資機材搬送車	24号車	本部	平15.3	7年	沖縄800さ70-41	三菱			県補助
救急車	救急1	本部	平10.3	12年	沖縄88す63-50	トヨタ		高規格	国庫補助
救急車	救急5	本部	平8.3	14年	沖縄88す48-53	トヨタ		2B型高規格救急車	寄贈 日本損害保険協会
ポンプ	4号車	牧港出張所	平15.2	7年	沖縄830せ1-23	いすゞ	森田ポンプ	A-2級	国庫補助
水難救助車	14号車	牧港出張所	平9.12	13年	沖縄88す61-74	いすゞ	新垣自動車工業	潜水用具 20セット	一般財源
化学	18号車	牧港出張所	平8.3	14年	沖縄88め11-82	日産	森田ポンプ		国庫補助
指揮車	20号車	牧港出張所	平12.2	10年	沖縄800さ34-24	日産			県補助
救急車	救急2	牧港出張所	平16.2	6年	沖縄800さ78-86	日産		高規格	防衛庁補助
水難救助艇	たこ3	宜マリナー	平16.3	6年	第296-22438号	ヤマハ		7人乗	防衛庁補助
消防水上バイク	たこ4	牧港出張所	平20.5	2年	第42-0723094号	ヤマハ		3人乗	
広報車	1号車	内間出張所	平7.2	15年	沖縄88す40-52	三菱			県補助
積載車	3号車	内間出張所	平9.2	13年	沖縄88す55-17	三菱		積載能力 1.5t	県補助
ポンプ	9号車	内間出張所	平12.2	10年	沖縄830さ1-20	ふそう	森田ポンプ	A-2級 2,000ℓ	国庫補助
広報車	19号車	内間出張所	平7.9	15年	沖縄88に29-44	日産			寄贈 日本消防協会
水槽	21号車	内間出張所	平13.2	9年	沖縄830さ1-21	ふそう	日本エレファント	B-2級 10,000ℓ	国庫補助
ポンプ	5号車	内間出張所	平1.9	21年	沖縄88す9-58	日野	日本機械工業	A-1級 2,000ℓ	寄贈 日本損害保険協会
救急車	救急3	内間出張所	平12.1	10年	沖縄800さ32-91	日産		高規格	防衛庁補助
ゴムボート	たこ2	内間出張所	平11.11	11年	第296-20184号			5人乗	一般財源

— 防衛関係 —

超短波無線電話配置状況

しょうぼううらそえ基地・しょうぼううらそえ固定			
きゅうきゅううらそえ基地		しょうぼううらそえ(県波)基地	

災害消防用広報車	2	携 帯	101	携 帯	127
ボンベ車	6	〃	104		128
ポンプ車	7	〃	105	〃	129
緊急人員搬送車	8	〃	108	〃	131
救助工作車	10	〃	110	〃	132
ポンプ車	11	〃	112	〃	135
梯子車	12	〃	113	〃	140
タンク車	13	〃	114		
鑑識車	15	〃	116		
ポンプ車	16	〃	117		
緊急人員搬送車	17	〃	118		
積載車	22	〃	119		
事務連絡車	23	〃	120		
資機材搬送車	24	〃	121		
現場指揮車	25	〃	123		
高規格救急車	1	〃	125		
高規格救急車	5	〃	126		

しょうぼうまきみなと基地・しょうぼうまきみなと固定			
きゅうきゅうまきみなと基地			

広報車	1	携 帯	102	携 帯	139
ポンプ車	4		103	〃	141
水難救助車	14	〃	106	〃	142
化学車	18	〃	109		
指揮車	20	〃	130		
高規格救急車	2	〃	138		

しょうぼううちま基地・しょうぼううちま固定			
きゅうきゅううちま基地			

積載車	3	携 帯	107	携 帯	134
ポンプ車	5	〃	111	〃	136
ポンプ車	9	〃	115	〃	137
広報車	19	〃	122		
タンク車	21	〃	124		
高規格救急車	3	〃	133		

中継局

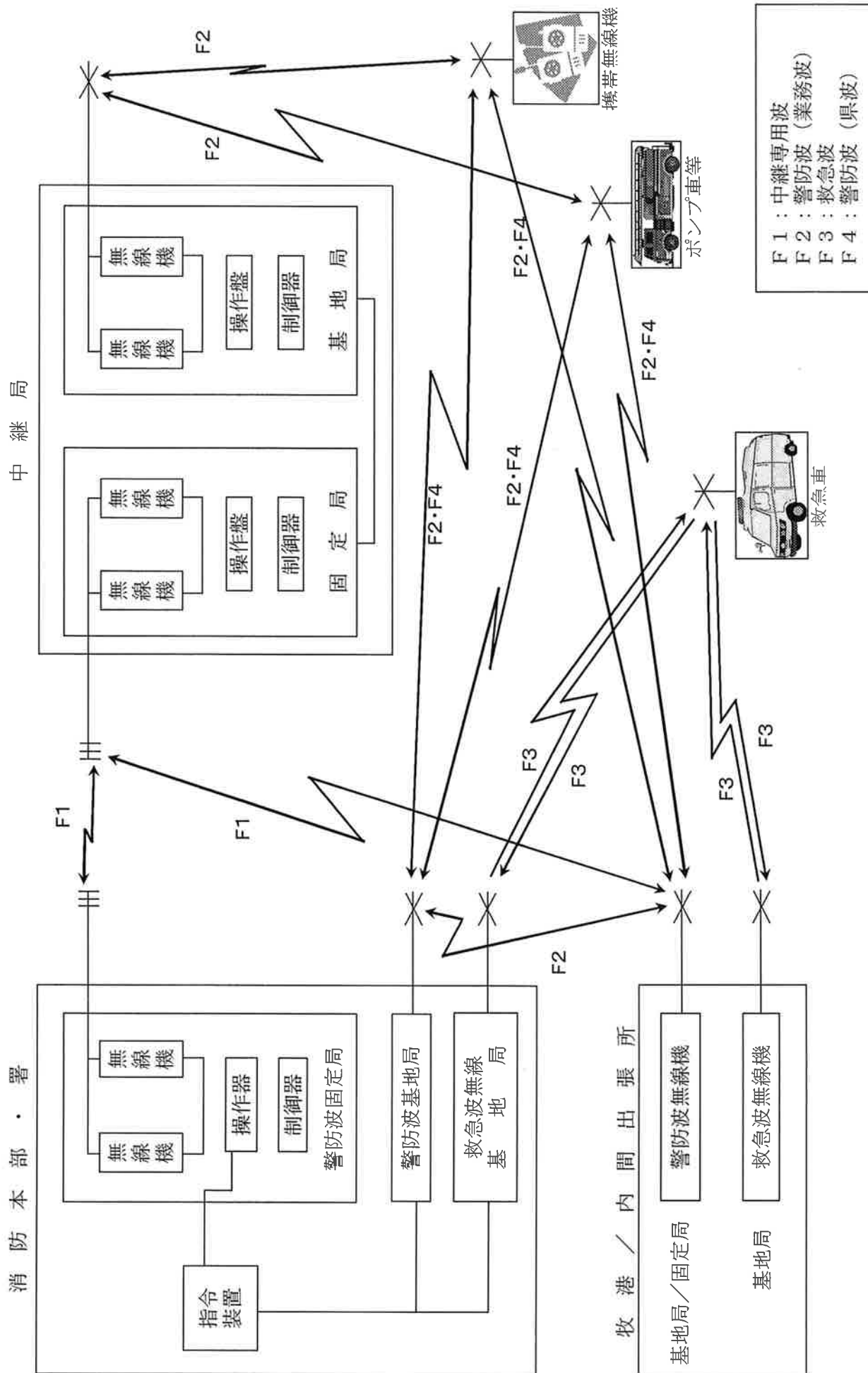
うらしょうあはちや基地
うらしょうあはちや固定

電波型式

呼出符号	種別	電波の型式	実装周波数	空中線電力	備 考
しょうぼううらそえ	基地局	F 3 E	2 波	10 W	業務波・県波
〃	固定局	〃	1 波	1 W	中継波(業務波)
きゅうきゅううらそえ	基地局	〃	〃	10 W	復信救急波
しょうぼうまきみなと	〃	〃	2 波	〃	業務波・県波
〃	固定局	〃	〃	〃	中継波・業務波
きゅうきゅうまきみなと	基地局	〃	1 波	〃	復信救急波
しょうぼううちま	〃	〃	2 波	〃	業務波・県波
〃	固定局	〃	〃	〃	中継波・業務波
きゅうきゅううちま	基地局	〃	1 波	〃	復信救急波
うらしょうあはちや	〃	〃	〃	〃	業務波(中継局)
〃	固定局	〃	〃	1 W	中継波
しょうぼううらそえ	1 移動局	〃	3 波	10 W	業務波・県波・防災相互波
〃	2 〃	〃	6 波	〃	業務波・県波・防災相互波・全国波(3波)
〃	3 〃	〃	2 波	〃	業務波・県波
〃	4 〃	〃	6 波	〃	業務波・県波・防災相互波・全国波(3波)
〃	5 〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃	6 〃	〃	2 波	〃	業務波・県波
〃	7 〃	〃	3 波	〃	業務波・県波・防災相互波
〃	8 〃	〃	6 波	〃	業務波・県波・防災相互波・全国波(3波)
〃	9 〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃	10 〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃	11 〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃	12 〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃	13 〃	〃	6 波	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃	14 〃	〃	6 波	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃	15 〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃	16 〃	〃	2 波	〃	業務波・県波
〃	17 〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃
〃	18 〃	〃	3 波	〃	業務波・県波・防災相互波
〃	19 〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃

呼出符号	種別	電波の型式	実装周波数	空中線電力	備 考
〃 20	〃	〃	6 波	〃	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 21	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 22	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 23	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 24	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 25	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
きゅうきゅううらそえ 1	移動局	F 3 E	1 波	10 W	復信救急波
きゅうきゅううらそえ 2	〃	〃	〃	〃	〃
きゅうきゅううらそえ 3	〃	〃	〃	〃	〃
きゅうきゅううらそえ 5	〃	〃	〃	〃	〃
しょうぼううらそえ 101	〃	〃	6 波	5 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 102	〃	〃	3 波	1 W	業務波・県波・防災相互波
〃 103	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 104	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 105	〃	〃	〃	5 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 106	〃	〃	6 波	5 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 107	〃	〃	3 波	10 W	業務波・県波・防災相互波
〃 108	〃	〃	6 波	5 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 109	〃	〃	3 波	10 W	業務波・県波・防災相互波
〃 110	〃	〃	6 波	5 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 111	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 112	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 113	〃	〃	3 波	1 W	業務波・県波・防災相互波
〃 114	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 115	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 116	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 117	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 118	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 119	〃	〃	6 波	10 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 120	〃	〃	3 波	1 W	業務波・県波・防災相互波
〃 121	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 122	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 123	〃	〃	6 波	5 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 124	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 125	〃	〃	3 波	1 W	業務波・県波・防災相互波
〃 126	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 127	〃	〃	6 波	5 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 128	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 129	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 130	〃	〃	3 波	1 W	業務波・県波・防災相互波
〃 131	〃	〃	6 波	5 W	業務波・県波・防災相互波・全国波（3波）
〃 132	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 133	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 134	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 135	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 136	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 137	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 138	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 139	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 140	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 141	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃
〃 142	〃	〃	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 〃 ・ 〃

警防波・救急波系統図



地 域 別 消 防 水 利

平成22年4月1日現在

	地 域	消 火 栓		防 火 水 槽
		双口	単口	
1	牧 港		50	40 m ³ 1基 耐震型 1基
2	港 川		32	
3	伊 祖		41	20 m ³ 1基 耐震型 1基
4	城 間		41	耐震型 2基
5	屋 富 祖	1	17	耐震型 1基
6	宮 城	3	43	
7	仲 西		14	
8	勢 理 客	1	32	耐震型 1基
9	小 湾		2	
10	西 原	1	65	40 m ³ 2基 耐震型 1基
11	当 山		16	20 m ³ 1基
12	仲 間		35	40 m ³ 1基 耐震型 3基
13	前 田	2	46	40 m ³ 1基
14	安 波 茶		22	40 m ³ 1基
15	大 平		24	40 m ³ 1基
16	経 塚		33	20 m ³ 1基
17	沢 岨		19	40 m ³ 1基
18	内 間		39	
19	西 洲		17	
20	伊 奈 武 瀬		3	
小 計		599 基		40 m ³ 18 基 20 m ³ 3 基
599 基の内 県 管 理 分		牧港団地 3 基 神森団地 2 基		
合 計		599 基		21 基

私 設 防 火 水 槽 (開 発 行 為 に よ る)			
1	伊 奈 武 瀬	中央卸売市場	耐震型 40 m ³ 1基 45 m ³ 2基
2	前 田	前田公務員宿舎	地上型 100 m ³ 半地下 150 m ³
3		国際センター	20 m ³ プール 450 m ³
4	沢 岨	う ら そ え 荘	40 m ³ 1基
5		コートヴィレッジ浦添	40 m ³ 1基
6		玉城共同住宅前	耐震型 40 m ³ 1基
7		県営沢岨住宅	耐震型 40 m ³ 1基
8	西 洲	K . K ジ ー マ	40 m ³ 2基
9	内 間	島袋盛昭氏宅前	耐震型 40 m ³ 1基
10	当 山	当山243-2前	耐震型 40 m ³ 1基
11	牧 港	エメロートでだこ苑	耐震型 40 m ³ 1基
12		テイクスワン 牧港地内	耐震型 40 m ³ 1基
13	港 川	サンハレスマンション 浦添港川地内	耐震型 40 m ³ 1基
14	城 間	ビオテラス浦添	1基
15	経 塚	サンエー 経塚シティ	耐震型 40 m ³ 2基 20 m ³
16	以 下 余 白		
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
合 計		防火水槽 20 基 + プール 1 基 = 21 基	

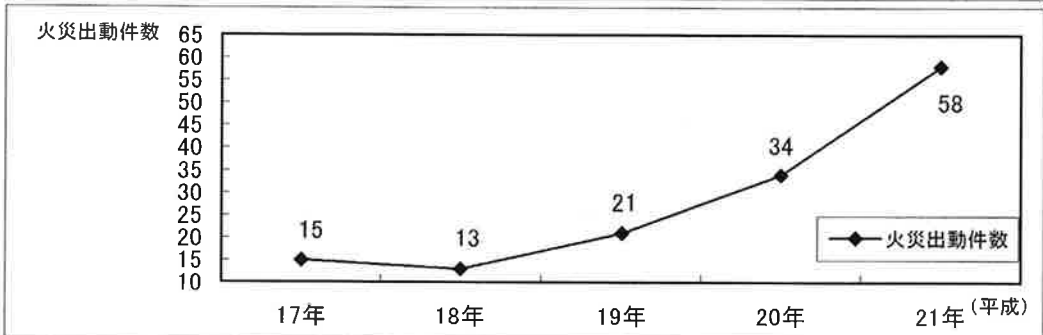
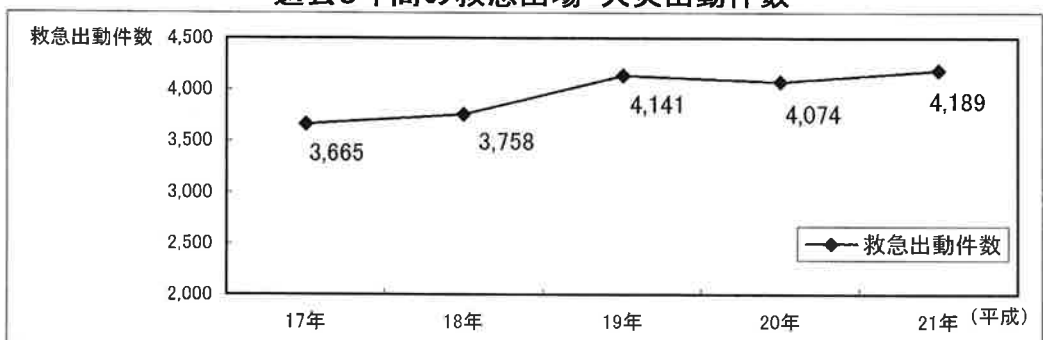
水 利 合 計	消 火 栓			防 火 水 槽			そ の 他
	小 計	公 設	私 設	小 計	公 設	私 設	
659	617	599	18	41	21	20	1

各種災害等出場状況

(平成21年1月～12月)

出 動 区 分	火 災 出 動	救 急 出 動	救 助 出 動	風 水 害 等 の 災 害	訓 練	広 報 ・ 指 導	警 防 調 査	特 別 警 戒	遭 難	そ の 他	う ち 誤 報	合 計
計	回数 58	4,189	19	5	697	240	77	332		726	0	6,343 回
	延人員 533	3,961	206	17	4,853	774	219	886		3,610	0	15,059 人
1月	回数 6	416	1	0	58	19	1	0		69		570 回
	延人員 68	392	16	0	341	61	4	0		389		1,271 人
2月	回数 5	323	0	0	60	15	3	3		60		469 回
	延人員 56	303	0	0	326	54	18	11		286		1,054 人
3月	回数 5	394	4	0	65	34	0	2		66		570 回
	延人員 27	377	41	0	327	114	0	5		321		1,212 人
4月	回数 7	365	3	0	89	9	8	0		68		549 回
	延人員 96	342	24	0	698	36	26	0		327		1,549 人
5月	回数 9	327	2	1	71	14	17	180		99		720 回
	延人員 97	301	18	5	647	57	40	520		490		2,175 人
6月	回数 2	335	1	3	59	22	4	48		42		516 回
	延人員 21	317	14	10	589	89	8	128		260		1,436 人
7月	回数 2	369	0	0	48	22	12	3		63		519 回
	延人員 38	349	0	0	347	77	33	11		306		1,161 人
8月	回数 6	343	0	0	44	16	14	0		68		491 回
	延人員 32	331	0	0	224	49	34	0		263		933 人
9月	回数 2	326	4	0	40	25	5	54		41		497 回
	延人員 10	311	51	0	310	71	19	120		210		1,102 人
10月	回数 6	324	1	1	54	17	7	39		52		501 回
	延人員 29	307	7	2	314	44	20	85		252		1,060 人
11月	回数 3	306	1	0	54	29	5	2		39		439 回
	延人員 32	289	17	0	332	74	15	3		193		955 人
12月	回数 5	361	2	0	55	18	1	1		59		502 回
	延人員 27	342	18	0	371	49	2	3		313		1,125 人

過去5年間の救急出場・火災出動件数



事故別による救助出動及び活動状況

(平成21年1月～12月)

事故種別	火 災			交通 事故	水 難 事 故	自然 災害	風 水 害 等	る 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	事 故 他	そ の 他	合 計
	建 物	以 外	建 物													
出動件数	1			6	3			1	5					3		19
活動件数	1			3	3			1	4					3		15
救助人員				3	3			1	4					2		13
出 動 人 員	救助隊員	5		25	21			4	24					17		96
	消防隊員	9		9	19			3	6					5		51
	救急隊員	2		24	9			3	12					9		59
	消防団員															0
	合 計	16		58	49			10	42					31		206
活 動 人 員	救助隊員	2		9	18			4	18					13		64
	消防隊員	1		4	18			3	5					3		34
	救急隊員			11	9			3	9					9		41
	消防団員															0
	合 計	3		24	45			10	32					25		139
出 動 車 両	救助工作車			6	2			1	5					2		16
	ポンプ車	4		7	3			1	6					3		24
	梯子車															0
	指揮車							1						1		2
	救急車	1		8	3			1	4					3		20
	その他				8									2		10
	合 計	5	0	21	16			4	15					11		72

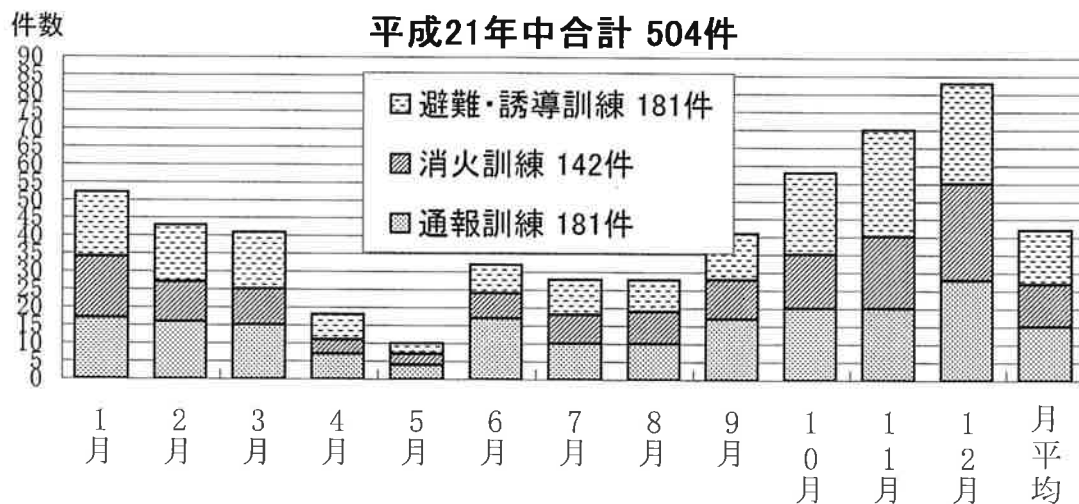
救助隊が保有する主な救助器具

(平成22年4月1日)

名 称	一般救助器具						重量物排除器具				切断用器具				破壊用器具				測定用器具			
	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	サバイバースリング	救命索発射銃	油圧ジャッキ	マット型空気ジャッキ	可搬ウインチ	大型油圧救助器具	チェーンソー	酸素ランス溶断器	鉄線カッター	空気鋸	ロータリーカッター	万能斧	ハンマー	ハンマードリル	携帯用コンクリート破壊器具	可燃性ガス測定器	有毒ガス測定器	酸素濃度測定器
数	2	1	2	1	6	1	4	3	2	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1

名 称	隊員保護用器具						水難救助用器具						その他			
	空気呼吸器	送排煙機	防毒マスク	耐電手袋	耐電長靴	耐熱服	潜水器具	救命胴衣	パディーホーン	救助艇	水中スクーター	救命浮環	水中投光器	バスケット担架	緩降機	化学防護服
数	9	1	5	8	8	0	20	11	0	3	0	6	1	1	2	6

消防訓練等実施状況 平成21年1月～12月



過去3年間の消防訓練実施状況

平成19年	平成20年	平成21年
352件	351件	504件

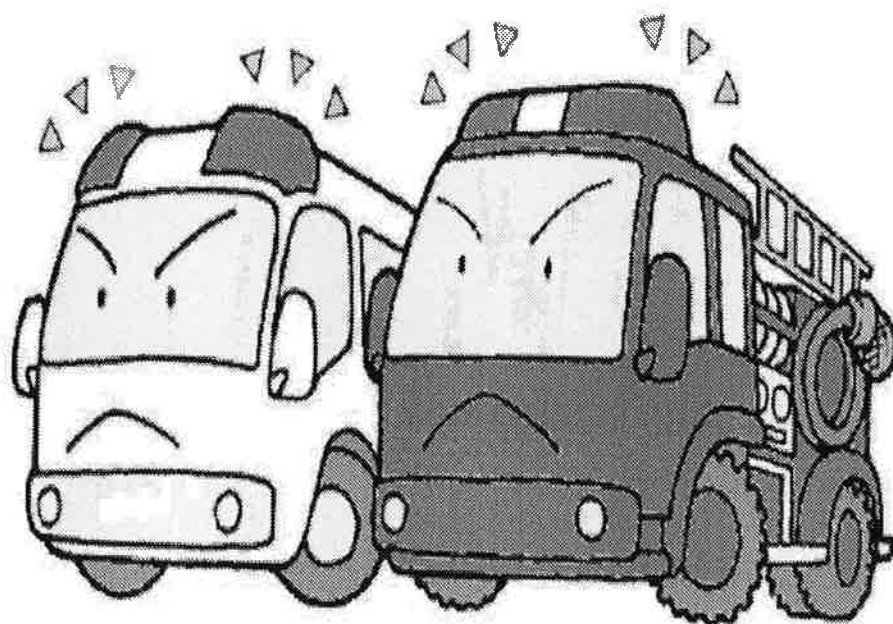
訓練件数／月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計	合計	月平均
		18	17	18	9	6	18	11	10	17	25	30	31	210	210	17.5
内訳	避難・誘導	18	16	16	7	3	8	10	9	13	23	30	28	181	504	15.1
	消火	17	11	10	4	3	7	8	9	11	15	20	27	142		11.8
	通報	17	16	15	7	4	17	10	10	17	20	20	28	181		15.1

業務出動件数

平成21年1月～12月

出動種目	出動内容	出動回数
火災の誤報	自火報の誤鳴動	32
	火災との勘違い(誤認)	4
危険排除	車両からの油漏れ	5
	蜂の巣除去	1
	ハブ捕獲	9
調査	火入れ指導調査	42
	水利・危険区域・対象物・違法駐車パトロール等	77
自然災害	台風	0
	大雨等	5
広報	火災予防、台風等	28
特別警戒	不発弾処理に伴う消防警備	4
	その他	332
油流出		0
その他	動物等の救出要請	6
	PA出動・水難パトロール等	625
計		1,170

救 急 關 係



署・所別救急出場件数

平成21年1月～12月（人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計
本 署	151	118	129	127	118	125	131	123	127	114	96	123	1,482
牧港出張所	142	121	141	118	118	107	139	122	100	119	113	129	1,469
内間出張所	123	84	124	120	91	103	99	98	99	91	97	109	1,238
合 計	416	323	394	365	327	335	369	343	326	324	306	361	4,189

署・所別救急搬送人員

平成21年1月～12月（人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計
本 署	143	112	128	119	110	120	120	117	122	108	94	115	1,408
牧港出張所	137	116	132	110	110	100	133	122	98	114	105	124	1,401
内間出張所	112	75	117	113	81	97	96	92	91	85	90	103	1,152
合 計	392	303	377	342	301	317	349	331	311	307	289	342	3,961

※平成21年救急出場件数 4,189 件 ※平成21年救急搬送人員 3,961 人

※一日平均出場件数 約 11.5 件 ※一日平均搬送人員 約 10.9 人

本 署 約 4.1 件
牧 港 約 4.0 件
内 間 約 3.4 件

本 署 約 3.9 人
牧 港 約 3.8 人
内 間 約 3.2 人

現場到着及び病院収容平均所要時間

平成21年1月～12月（分）

事故種別	現場到着平均所要時間（分）		病院収容平均所要時間（分）		備 考
急病	6.1	分	25.0	分	
交通	6.1	分	25.0	分	
一般負傷	5.9	分	25.3	分	
その他	6.2	分	24.3	分	
平均	6.1	分	24.9	分	

事故種別・傷病程度別搬送人員

平成21年1月～12月（人）

事故種別 傷病程度	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	3,961	4	0	2	463	20	22	472	39	57	2,197	685
死 亡	76	1			3	1		5		7	40	19
重 症	476				17	1	1	61		4	221	171
中 症	1,248	3		2	53	3	1	78	5	18	678	407
軽 症	2,161				390	15	20	328	34	28	1,258	88
そ の 他	0											

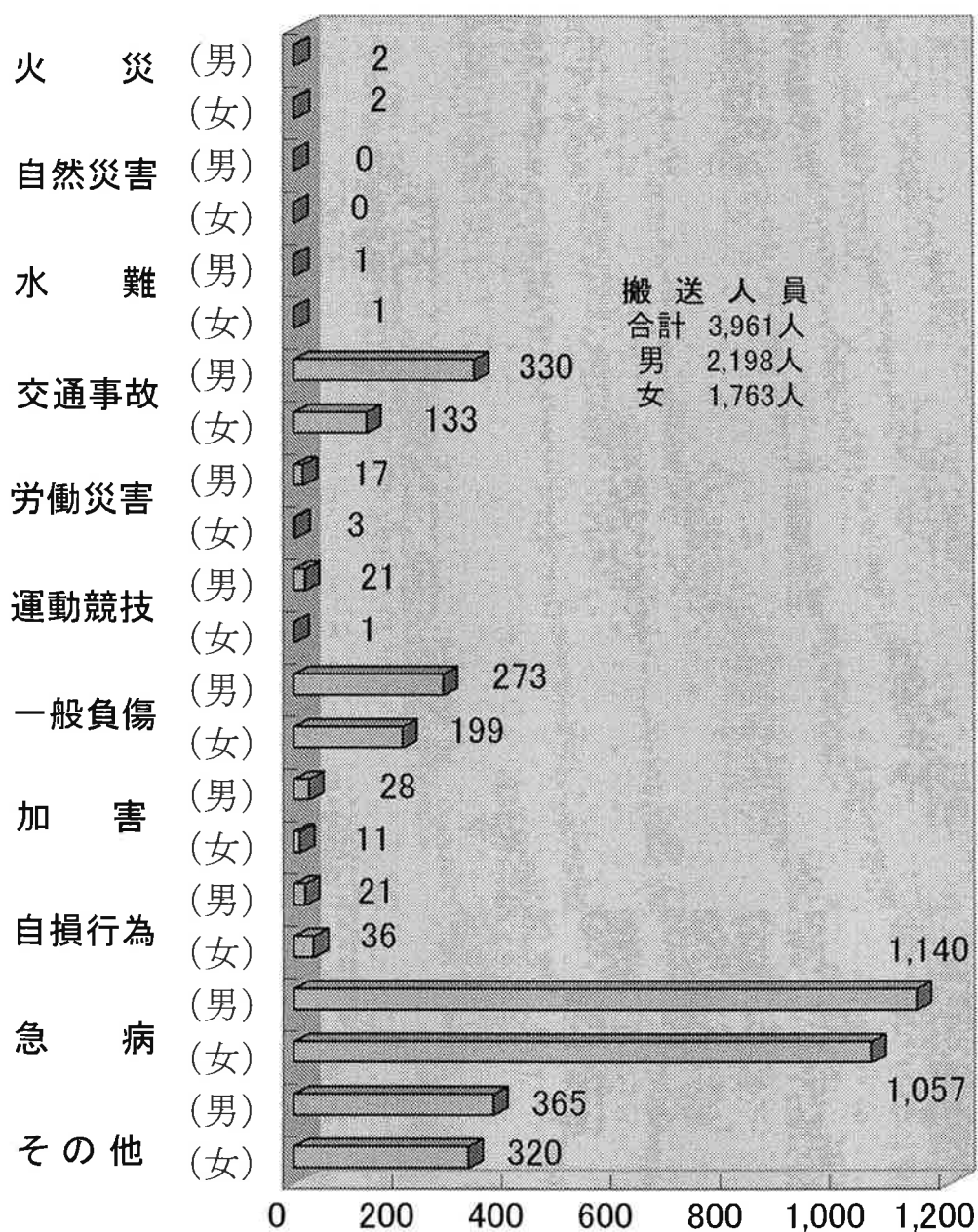
年齢区分別・傷病程度別搬送人員

平成21年1月～12月（人）

年齢区分 傷病程度	計	新 生 児 生後28日以内	乳 幼 児 生後29日以上 満 7 歳未満	少 年 満 7 歳以上 満18歳未満	成 人 満18歳以上 満65歳未満	老 人 満65歳以上
計	3,961	37	211	292	1,753	1,668
死 亡	75	0	0	1	35	39
重 症	476	3	0	8	147	318
中 症	1,248	33	41	52	465	657
軽 症	2,162	1	170	231	1,106	654
そ の 他	0	0	0	0	0	0

事故種別・男女別搬送人員

平成21年中

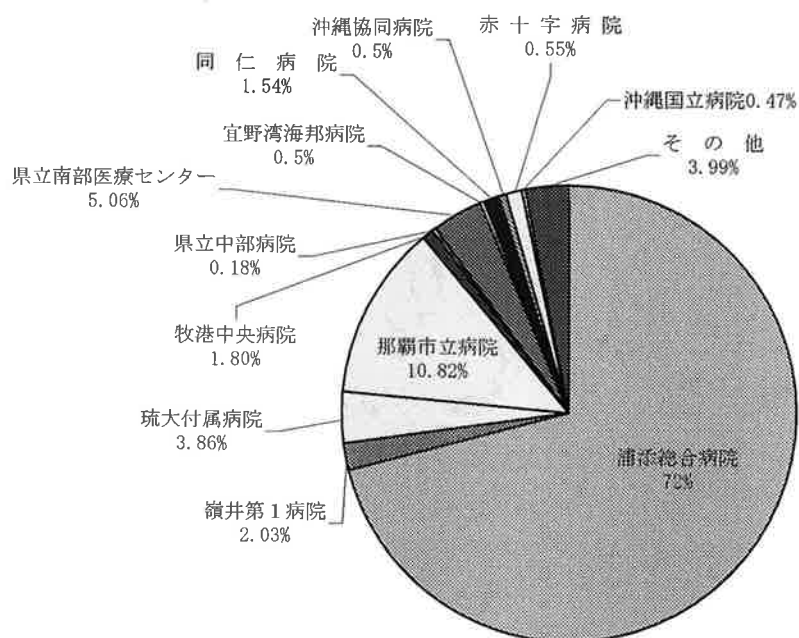


医療機関別・事故種別搬送人員

平成21年1月～12月（人）

医療機関 \ 事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	3,961	4	0	2	463	20	22	472	39	57	2,197	685
浦添総合病院	2,803	4	0	1	404	19	20	397	35	52	1,493	378
嶺井第1病院	79	0	0	0	0	0	0	2	0	0	67	10
琉大付属病院	147	0	0	1	16	0	0	12	2	1	82	33
那覇市立病院	493	0	0	0	34	1	2	36	1	2	305	112
牧港中央病院	33	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	15
県立中部病院	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
県立南部医療センター	145	0	0	0	2	0	0	6	1	0	86	50
宜野湾海邦病院	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	3
同仁病院	50	0	0	0	3	0	0	3	0	0	26	18
沖縄協同病院	19	0	0	0	0	0	0	2	0	0	16	1
赤十字病院	41	0	0	0	1	0	0	1	0	0	8	31
沖縄国立病院	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	6
その他	118	0	0	0	3	0	0	13	0	1	76	25

主な病院への搬送人員



曜日別・月別・救急搬送人員

平成21年1月～12月

事故種別 区分		計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
曜 日 別	月	580	1	0	0	77	2	1	60	2	5	323	109
	火	578	0	0	0	64	3	7	55	4	8	326	111
	水	561	1	0	0	63	3	3	72	10	7	301	101
	木	579	0	0	0	77	4	1	60	3	10	320	104
	金	588	0	0	0	69	4	3	81	7	7	306	111
	土	537	1	0	0	56	4	2	74	6	4	308	82
	日	538	1	0	2	57	0	5	70	7	16	313	67
	計	3,961	4	0	2	463	20	22	472	39	57	2,197	685
月 別	1月	392	1	0	0	34	0	0	57	2	6	232	60
	2月	303	0	0	0	33	1	1	30	1	2	184	51
	3月	377	0	0	0	46	3	3	46	4	5	195	75
	4月	342	1	0	0	42	1	2	34	4	1	201	56
	5月	301	1	0	0	32	5	2	39	3	14	154	51
	6月	317	0	0	0	33	1	3	28	2	5	184	61
	7月	349	0	0	0	52	0	3	48	0	5	166	75
	8月	331	0	0	0	42	1	2	26	2	5	193	60
	9月	311	0	0	0	38	0	1	36	7	4	173	52
	10月	307	1	0	1	37	3	3	28	5	5	176	48
	11月	289	0	0	1	24	2	2	47	3	2	160	48
	12月	342	0	0	0	50	3	0	53	6	3	179	48

事故種別搬送人員

平成21年1月～12月（人）

事故種別 区 分	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
休 日	703	1		2	71	1	7	92	10	18	414	87
休 日 以 外	3,258	3			392	19	15	380	29	39	1,783	598
計	3,961	4	0	2	463	20	22	472	39	57	2,197	685

事故別・時間別搬送人員

平成21年1月～12月（人）

事故種別 区 分		計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
時 間 別 内 訳	0～2	218	0	0	0	30	1	0	37	4	3	135	8
	2～4	215	0	0	0	31	0	0	27	4	6	131	16
	4～6	159	0	0	0	16	0	0	19	7	1	107	9
	6～8	205	1	0	0	18	1	1	22	1	3	145	13
	8～10	435	1	0	0	69	5	4	46	2	5	230	73
	10～12	424	0	0	0	27	4	3	44	1	6	208	131
	12～14	388	1	0	2	36	1	6	31	1	4	193	113
	14～16	419	0	0	0	52	4	2	49	0	7	210	95
	16～18	434	0	0	0	63	2	1	55	3	6	196	108
	18～20	424	0	0	0	51	1	5	56	4	3	239	65
	20～22	325	1	0	0	41	0	0	37	3	6	204	33
	22～24	315	0	0	0	29	1	0	49	9	7	199	21
計		3,961	4	0	2	463	20	22	472	39	57	2,197	685

管内管外別搬送人員

平成21年1月～12月

事故種別 区 分	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
管内に住所を 有する者	2,917	4	0	0	236	5	11	401	24	51	1,858	327
管外に住所を 有する者	1,012	0	0	2	223	15	11	66	13	5	324	353
そ の 他	32	0	0	0	4	0	0	5	2	1	15	5
合 計	3,961	4	0	2	463	20	22	472	39	57	2,197	685

救急隊員の行った応急処置件数

平成21年1月～12月

事故種別	合 計	応 急 処 置 対 象 人 員	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 心 音 呼 吸 音 の 聴 取	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	そ の 他	心 電 図
急 病	11,224	2,189	4	30	24	45	906	76	252	8	1,978	1,438	2,143	1,086	1,045
交通事故	2,519	459	19	376	1	2	77	2	15	92	444	310	455	203	64
一般負傷	2,252	468	51	165	0	3	52	3	24	133	445	143	461	231	73
その他	3,525	816	15	56	17	21	423	22	85	43	324	324	777	368	234
合 計	36,208	3,932	89	627	42	71	1,458	103	376	276	3,191	2,215	3,836	1,888	54,312

事故種別・行政区別出場件数

平成21年1月～12月

種 別 行政区別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
仲 間				12	1	6	21		1	59		100
安 波 茶	1			4			10		1	32		48
伊 祖				16			16	2	4	73	118	229
牧 港	1			33	1	1	31	3	5	112	47	234
港 川				10	1	1	28	2	3	96	28	169
城 間	1			18	1		23		2	103	34	182
屋 富 祖	8			22		1	33	11	2	135	10	222
宮 城	1			16			29	5	13	172	20	256
仲 西	1			5			10			50	3	69
小 湾				20		1	17	1	6	84	12	141
勢 理 客	5		5	30	7	1	35	2	4	133	4	226
内 間	1			50		2	42	4	7	186	42	334
沢 岨				16		1	11		1	54	17	100
経 塚				15		2	10		2	75	68	172
前 田	1			26			37	3	4	145	8	224
西原一区				9	1		8	1		49	8	76
西原二区				8	1		9	2	3	43	5	71
当 山	1			2			9		1	21	2	36
大 平				23	1	3	18		1	92	37	175
広 栄				3			4	1		22		30
茶山団地				4			8			9	7	28
緑 ケ 丘				15		3	9	1		35		63
浦 城				21	2		16		3	90	36	168
ニュータウン	2			6			7		1	41	8	65
牧港ハイツ				1			6			43	19	69
グリーンハイツ				1			5		1	48	1	56
浅 野 浦	2			19			16	1	1	75	10	124
前田公務員宿舎							1			7		8
港川崎原					1				2	3		6
上 野				19	2		7		1	52	3	84
マチナトタウン				3			7	1		45	5	61
神森団地	1			4			7			17		29
浦西団地				6			6	1		46		59
安川団地				3	1					8	1	13
当山ハイツ				7			5	1		25	30	68
浦添ハイツ				1			2			5		8
県営経塚団地									1	5		6
浦添市街地住宅				1			1			8		10
県営沢岨高層住宅												0
キャンプキンザー										1	1	2
陽迎橋												
そ の 他				5				1	2	5	155	168
合 計	26	0	5	454	20	22	504	43	72	2,304	155	4,189

資格別消防職員数

平成22年4月1日現在（人）

区 分		資格等	合 計	救急救命士 資 格 者	救急標準課程 修 了 者	救急Ⅱ課程 修 了 者	救急Ⅰ課程 修 了 者
消防職員	救急隊員	専任	9	6	3	0	0
		兼任	45	14	25	6	0
		計	54	20	28	6	0
	その他		26	3	12	11	0

医療機関数

平成22年4月1日現在

平成22年4月1日現在

医 療 機 関 数																	
救急告示医療機関						その他の医療機関						計					
国 立	公 立	公 的	私 的		計	国 立	公 立	公 的	私 的		計	国 立	公 立	公 的	私 的		計
			病 院	診 療 所					病 院	診 療 所					病 院	診 療 所	
			3		3				5	72	77				8	72	80

発生場所別搬送人員

平成21年1月～12月（人）

区 分	発生場所	計	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他
急病		2,198	1,570	460	61	94	13
交通		463	3	5	0	454	1
一般負傷		472	246	141	6	71	8
その他		828	85	691	16	23	13
計		3,961	1,904	1,297	83	642	35

過去5年間の事故種別救急出場件数

1月～12月

事故種別 年 別	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
平成17年	3,665	9		5	490	32	25	459	40	51	2,074	480
平成18年	3,758	11		9	470	30	13	441	44	56	2,129	555
平成19年	4,141	23	1	14	423	39	21	536	34	50	2,273	645
平成20年	4,074	14		8	408	40	29	504	42	62	2,203	764
平成21年	4,189	26		5	454	20	22	504	43	72	2,306	737

過去5年間の事故種別救急搬送人数

1月～12月

事故種別 年 別	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
平成17年	3,479	2			482	32	25	433	33	41	1,995	436
平成18年	3,605	8		5	491	30	13	420	36	48	2,042	512
平成19年	3,930	9	1	6	429	41	21	503	29	40	2,183	668
平成20年	3,835	2		5	399	39	29	474	40	47	2,103	697
平成21年	3,961	4		2	463	20	22	472	39	57	2,197	685

過去５年間の一般的な救急法講習会実施状況

実施年	実施件数	受講者数	講習内容
平成１７年	17件	420人	
平成１８年	25件	696人	
平成１９年	23件	751人	
平成２０年	21件	544人	
平成２１年	13件	340人	

※ 一般的な講習会は効果測定なし。終了証の交付なし。

救命講習会実施状況

実施年	種別	実施件数	受講者数	講習内容
平成１７年	普通救命講習 ３時間コース	34件	842人	
平成１８年	普通救命講習 ３時間コース	29件	717人	
平成１９年	普通救命講習 ３時間コース	45件	1,219人	
平成２０年	普通救命講習 ３時間コース	54件	1,273人	
平成２１年	普通救命講習 ３時間コース	52件	1,248人	
○普通救命講習会の実施件数 214件 受講者数 5,299人				
平成１７年	上級救命講習 ８時間コース	6件	119人	
平成１８年	上級救命講習 ８時間コース	8件	156人	
平成１９年	上級救命講習 ８時間コース	7件	107人	
平成２０年	上級救命講習 ８時間コース	4件	98人	
平成２１年	上級救命講習 ８時間コース	7件	220人	
○上級救命講習会の実施件数 32件 受講者数 700人				

※ 救命講習会は、心肺蘇生法実技のみ効果測定あり。受講生に講習修了証の交付あり。

予 防 関 係



浦添市の火災概況

区分		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
出火件数	計	15	13	21	34	58
	建 物	8	10	18	14	35
	林 野	1	0	0	0	0
	車 両	5	2	0	5	2
	船 舶	0	0	0	0	0
	そ の 他	1	1	3	15	21
焼損棟数	計	8	10	13	14	32
	全 焼	1	2	3	0	8
	半 焼	0	1	3	0	2
	部 分 焼	3	2	5	4	8
	ぼ や	4	5	2	10	14
建物焼損面積		96㎡	341㎡	434㎡	153㎡	958㎡
林野焼損面積		7a	0a	0a	0a	0a
死傷者	死 者 (人)	2	1	0	0	3
	負傷者 (人)	0	2	3	1	3
り災世帯		5	5	9	3	14
り災人員 (人)		16	16	21	5	26
損害額	計 (千円)	7,024	49,131	42,047	8,569	84,116
	建 物	6,346	48,431	41,941	8,323	84,116
	林 野	0	0	0	0	0
	車 両	676	700	0	246	0
	船 舶	0	0	0	0	0
	そ の 他	2	0	106	0	0

月別火災件数及び損害額

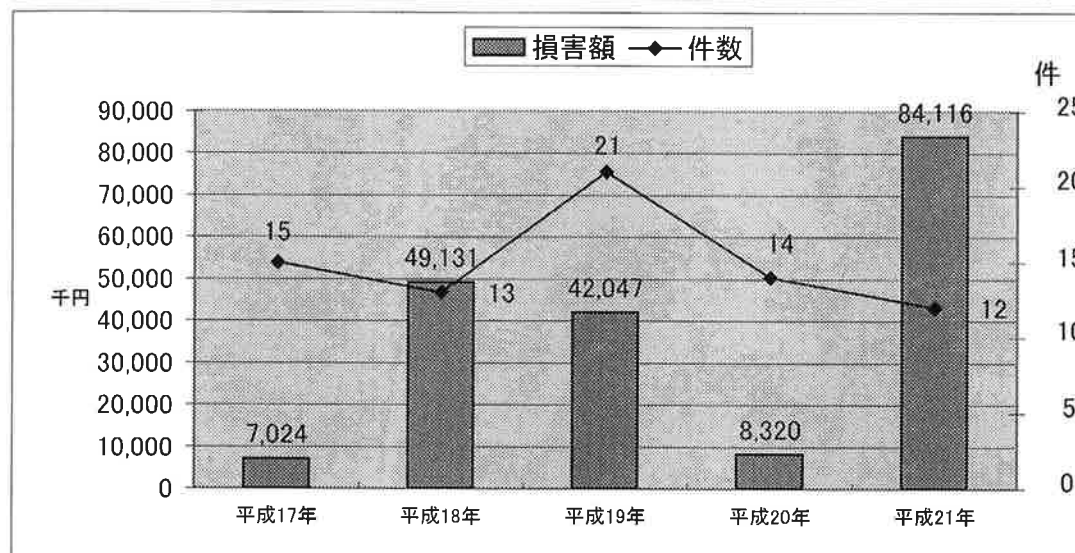
平成21年1月～12月

区分	月別												
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件 数		6	5	5	7	9	2	2	6	2	6	3	6
損害額 (千円)		14,106	40,491		3,525	23,251		2,321				422	

建 物 火 災 概 要

平成21年 1月～12月

発生場所	覚 知 別	焼損程度	損害面積	損害額	死	傷	気 象 状 況
			(㎡)	(千円)			
前田	119	全焼	97.35	12,094		1	曇り、13℃、45% 北、6mm
屋富祖	119	全焼	56.1	2,012			晴れ、12℃、57% 北北東、3mm
牧港	119	半焼	372.87	40,491			曇り、16℃、72% 北東、4mm
伊祖	119	部分焼	35	3,169	1		曇り、19℃、61% 北北東、4mm
屋富祖	119	部分焼	2	142			晴れ、22℃、94% 南南東、4mm
城間	119	ぼや		214			晴れ、18℃、47% 北北東、4mm
屋富祖	119	全焼2棟	120.71	11,317	2		晴れ、21℃、67% 東南東、4mm
屋富祖	119	全焼3棟	187.7	9,090			晴れ、21℃、70% 北西、5mm
当山	119	部分焼	24.3	2,844		1	曇り、25℃、76% 南南西、3mm
宮城	119	部分焼	20	443			晴れ、29℃、82% 南東、6mm
宮城	119	部分焼	20.9	1,878			晴れ、31℃、67% 東北東、6mm
大平	119	部分焼	9.7	422			曇り、26℃、61% 東、6mm



用途別火災原因件数

平成21年 1月～12月

種 別 \ 原因別	合 計	火 遊 び	放 火 ・ 放 火 の 疑 い	飛 火 ・ 残 火 の 不 始 末	花 火	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	油 鍋 の 過 熱	電 気 配 線 ・ 配 線 器 具	電 気 機 器 ・ 装 置	溶 接 断 機	石 油 機 器 ・ 燃 焼 炉 等	内 燃 機 関 ・ 排 気 管 等	ガ ス 機 器 ・ 設 備	煙 草	不 明 ・ 調 査 中	そ の 他
一 般 住 宅	13		3						1				6		2	1
共 同 住 宅	16	1	5	1									5		4	
そ の 他 の 建 物	6		2	2									1		1	
車 両	2														1	1
林 野	0															
船 舶	0															
そ の 他	21	3	2	2	1				1						12	
計	58	4	12	5	1	0	0	0	2	0	0	0	12	0	20	2

過去5年間の火災原因件数

1月～12月

種 別 \ 原因別	合 計	火 遊 び	放 火 ・ 放 火 の 疑 い	飛 火 ・ 残 火 の 不 始 末	花 火	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	油 鍋 の 過 熱	電 気 配 線 ・ 配 線 器 具	電 気 機 器 ・ 装 置	溶 接 断 機	石 油 機 器 ・ 燃 焼 炉 等	内 燃 機 関 ・ 排 気 管 等	ガ ス 機 器 ・ 設 備	煙 草	不 明 ・ 調 査 中	そ の 他
平 成 17 年	15		1	1		1	3					4			5	
平 成 18 年	13		1	2					4			2	2		2	
平 成 19 年	21					5		2	1				3	2	8	
平 成 20 年	34		3	3	1		1	2	1	1			4		16	2
平 成 21 年	58	4	12	5	1				2				12		20	2
計	141	4	17	11	2	6	4	4	8	1	0	6	21	2	51	4

地 域 別 ・ 月 別 ・ 火災発生件数

平成21年 1月～12月

字 別	月 別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		57	6	5	5	7	8	1	2	5	2	6	4	6
仲 間		3			1	1		1						
安 波 茶		4										2	1	1
伊 祖		3			1	2								
牧 港		2		1							1			
港 川		3		1							1	1		
城 間		5				2	1						1	1
屋 富 祖		6	1			1	2						1	1
宮 城		8	3						2	1		1		1
仲 西		1										1		
小 湾		1				1								
勢 理 客		5	1	1	1		2							
内 間		4		1						1				2
沢 岨		0												
経 塚		1					1							
前 田		4	1							2		1		
西 原		1			1									
当 山		2					2							
大 平		2			1								1	
西 洲		1								1				
伊奈武瀬		1		1										

月 別 ・ 時 間 別 ・ 火災発生件数

平成21年 1月～12月

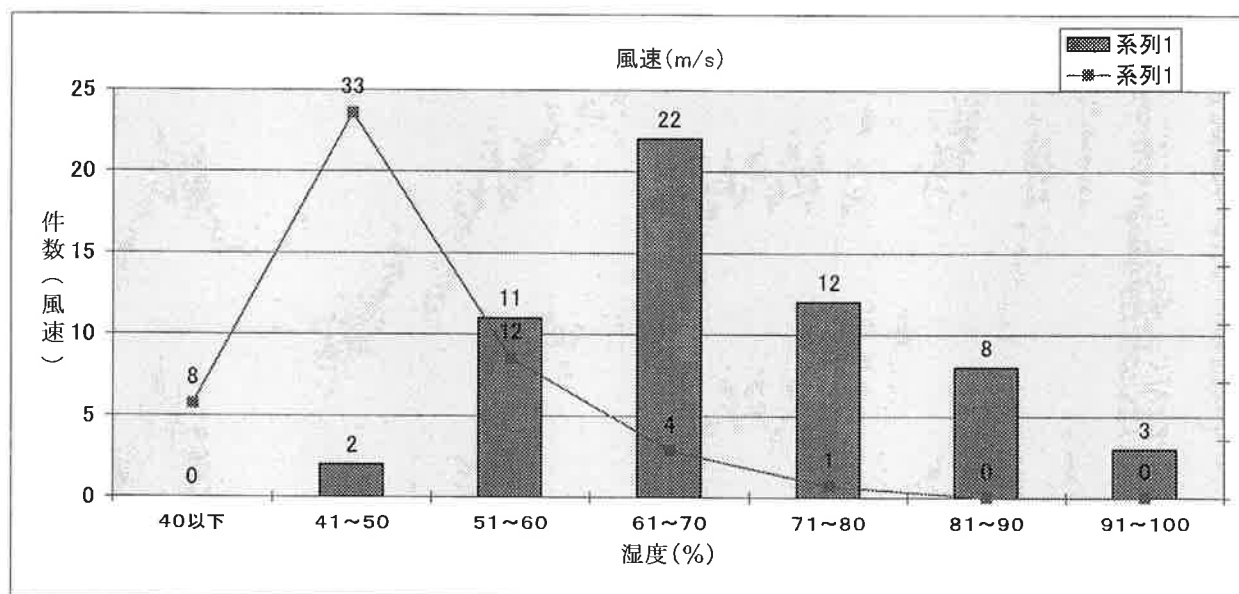
時間別	月 別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		58	6	5	5	7	9	2	2	6	2	5	4	5
0 ～ 1		2					1				1			
1 ～ 2		5				2		2				1		
2 ～ 3		2			1	1								
3 ～ 4		2		1			1							
4 ～ 5		2					1			1				
5 ～ 6		2					2							
6 ～ 7		2	2											
7 ～ 8		1										1		
8 ～ 9		2									1		1	
9 ～ 10		2										1		1
10 ～ 11		0												
11 ～ 12		1								1				
12 ～ 13		2	1											1
13 ～ 14		3		1			1					1		
14 ～ 15		2		1	1									
15 ～ 16		3				1	1			1				
16 ～ 17		4		2	1								1	
17 ～ 18		4			1	1			1	1				
18 ～ 19		2			1								1	
19 ～ 20		3				2				1				
20 ～ 21		4								1		1		2
21 ～ 22		3	2						1					
22 ～ 23		3	1										1	1
23 ～ 24		2					2							

気象別火災発生件数

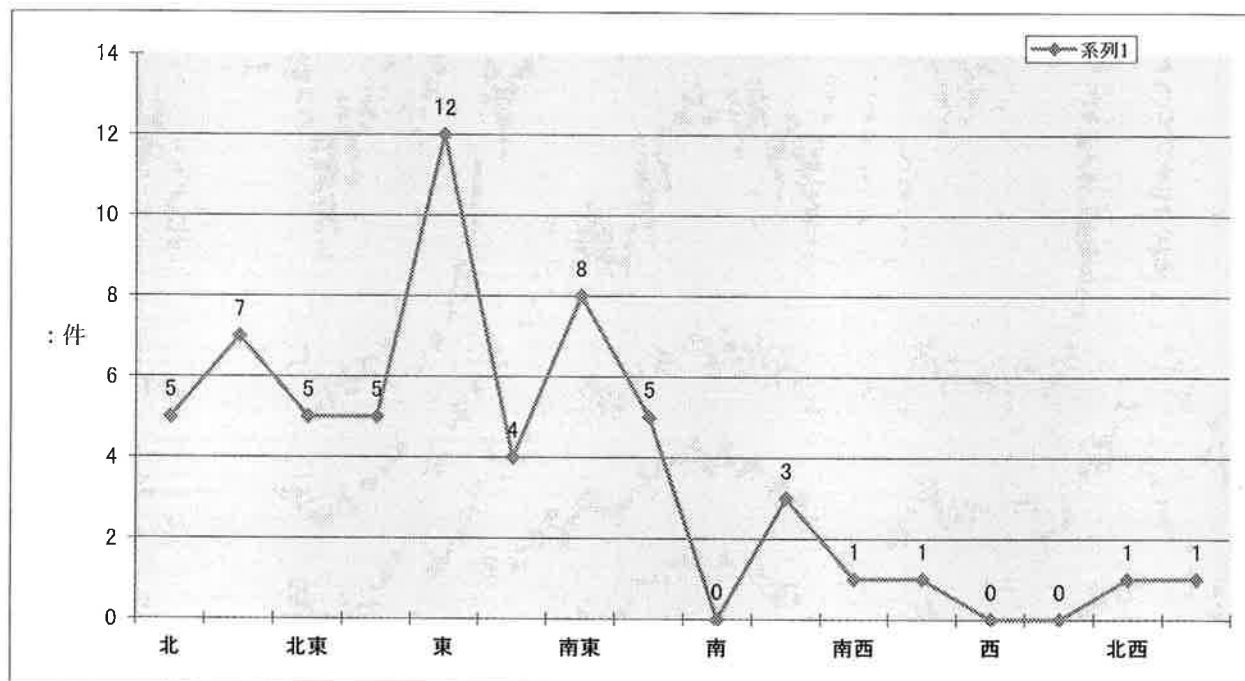
平成21年 1月～12月

湿度(%)	計	40以下	41～50	51～60	61～70	71～80	81～90	91～100
件数	58	0	2	11	22	12	8	3

風速(m/s)	計	0～2	3～5	6～8	9～11	12～14	15～17	18以上
件数	58	8	33	12	4	1	0	0



出火時風向



用途別 消防用設備等検査済証 交付件数

平成21年度

消 防 用 設 備 等 の 種 類 用途別		消 火 設 備							警 報 設 備				避 難 設 備	消 火 活 動 上 必要 な 設 備					
		消 火 器	※①屋内消火栓設備	屋外消火栓設備	粉末消火設備	泡消火設備	※②ハロゲン化物消火設備	不活性ガス消火設備	自動火災報知設備	非常（ベル・サイレン）	非常放送設備	ガス漏れ警報設備	誘導灯・誘導標識	避難器具	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント設備	その他	
(1)	イ 劇場・映画館																		
	ロ 公会堂・集会場									1									
(2)	イ キャバレー・ナイトクラブ																		
	ロ 遊技場・ダンスホール																		
	ハ 性風俗特殊営業店舗等																		
	ニ カラオケボックス等個室型店舗																		
(3)	イ 待合・料理店																		
	ロ 飲食店	4						2	1			4							
(4)	百貨店・マーケット	3						1	2	2		3							
(5)	イ 旅館・ホテル																		
	ロ 寄宿舍・共同住宅	30						18					12		3				
(6)	イ 病院・診療所	2							2			2						1	
	ロ 老人短期入所施設等			1														1	
	ハ 老人デイサービスセンター等	3						2				2						3	
	ニ 幼稚園・特別支援学校	1						1	1		1								
(7)	小・中・高・大学等	4	3					4		2		3							
(8)	図書館・博物館																		
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場																		
	ロ 公衆浴場																		
(10)	車両の停車場																		
(11)	神社・寺院・教会																		
(12)	イ 工場・作業場	4	1					5				3	1						
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ																		
(13)	イ 自動車車庫・駐車場																		
	ロ 飛行機の格納庫																		
(14)	倉庫	3	2	1				3				2							
(15)	前項に該当しない事業場	2						5				2	1					1	
(16)	イ 特定防火対象物を含む 複合用途防火対象物	12		1		1		10	3	1		10	3					4	
	ロ その他の複合用途防火対象物	3	1					3				2	1						
合 計		71	7	2	1	0	1	0	0	54	8	7	0	34	18	0	3	0	10

※①パッケージ型消火設備含む

※②代替ハロン消火設備含む

用途別・階別防火対象物数

平成21年度

防火対象物の区分			総 数	階 別		
				5階未満	5階以上11階未満	11階以上
(1)	イ	劇場・映画館・観閲場	5	5		
	ロ	公開堂・集会場	31	30	1	
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ	14	8	6	
	ロ	遊技場・ダンスホール	26	25	1	
	ハ	性風俗特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗				
(3)	イ	待合・料理店	0			
	ロ	飲食店	47	47		
(4)		百貨店等物品販売業を営む店舗	115	113	2	
(5)	イ	旅館・ホテル	18	13	5	
	ロ	寄宿舍・共同住宅	1338	1044	279	15
(6)	イ	病院・診療所	55	44	11	
	ロ	老人短期入所施設等	61	57	3	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	23	23		
	ニ	幼稚園・特別支援学校	20	20		
(7)		小・中・高・大学・専門学校等	113	112	1	
(8)		図書館・博物館・美術館	3	3		
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1	1		
	ロ	公衆浴場	0			
(10)		車両の停車場・航空機発着場	0			
(11)		神社・寺院・教会	11	11		
(12)	イ	工場・作業場	186	184	2	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0			
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	20	19	1	
	ロ	飛行機の格納庫	0			
(14)		倉庫	186	185	1	
(15)		前各項に該当しない事業場	242	218	24	
(16)	イ	特定防火対象物を含む 複合用途防火対象物	356	313	43	
	ロ	その他の複合用途防火対象物	126	94	32	
合 計			2,997	2,569	412	16

月別・用途別 建築同意処理状況

平成21年度

用途別		月 別	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計			114	11	6	14	13	12	7	12	7	8	7	4	13
(1)	イ 劇場・映画館		0												
	ロ 公会堂・集会場		1							1					
(2)	イ キャバレー・ナイトクラブ		0												
	ロ 遊技場・ダンスホール		0												
	ハ 性風俗特殊営業店舗等														
	ニ カラオケボックス等														
(3)	イ 待合・料理店		0												
	ロ 飲食店		3					1		1					1
(4)	百貨店・マーケット		4				1	1	1	1					
(5)	イ 旅館・ホテル		0												
	ロ 寄宿舍・共同住宅		48	4	1	7	3	7	1	5	2	4	4	3	7
(6)	イ 病院・診療所		2	1			1								
	ロ 老人短期入所施設等		1				1								
	ハ 老人デイサービスセンター等		1							1					
	ニ 幼稚園・特別支援学校								1			1			1
(7)	小・中・高・大学等		0												
(8)	図書館・博物館		0												
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場		0												
	ロ 公衆浴場		0												
(10)	車両の停車場		0												
(11)	神社・寺院・教会		0												
(12)	イ 工場・作業場		4		1							1		1	1
	ロ 映画・テレビスタジオ		0												
(13)	イ 自動車車庫・駐車場		0												
	ロ 飛行機の格納庫		0												
(14)	倉庫		1				1								
(15)	前項に該当しない事業場		5				1	1	1		2				
(16)	イ 特定防火対象物を含む 複合用途防火対象物		8	1		1	2	1	1		1		1		
	ロ その他の 複合用途防火対象物		5	2	1	1				1					
そ の 他			28	3	3	5	3	1	2	2	2	2	2		3
区 分		月 別	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
建 築 物 計 画 通 知			16	1		1	1		1	1	2		1	5	3
建 築 確 認 通 知			124	12	8	10	13	6	9	11	7	14	7	14	13

地域別・年別建築同意件数

字別	年別	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
仲 間		2	7	3	0	2
大 平		6	1	1	5	6
経 塚		6	8	10	15	14
内 間		14	12	11	8	5
宮 城		22	11	6	15	9
仲 西		8	4	1	2	3
勢 理 客		10	12	7	7	6
屋 富 祖		6	6	7	3	3
伊 祖		11	13	3	14	7
城 間		12	21	7	6	5
牧 港		20	27	13	6	10
港 川		7	8	6	6	9
西 原		19	18	10	14	18
前 田		18	14	8	8	6
沢 岨		10	9	5	3	4
安 波 茶		2	5	3	2	4
当 山		3	4	2	2	2
小 湾		0	0	0	0	0
西 洲		3	2	0	0	1
伊 奈 武 瀬		1	0	0	0	0
計		180	182	103	116	114

用途別点検結果報告状況

施設区分			年別	17年度報告 件 数	18年度報告 件 数	19年度報告 件 数	20年度報告 件 数	21年度報告 件 数
(1)	イ	劇場・映画館		1	1	2	1	1
	ロ	公会堂・集会場		7	9	7	11	13
	イ	キャバレー・ナイトクラブ		1	4	1	1	1
(2)	ロ	遊技場・ダンスホール		5	6	7	7	8
	ハ	性風俗特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店		10	6	9	6	7
(4)		百貨店・マーケット		12	17	18	22	27
(5)	イ	旅館・ホテル		6	8	8	7	5
	ロ	寄宿舎・共同住宅		69	76	52	46	66
	イ	病院・診療所		17	18	21	22	22
(6)	ロ	老人短期入所施設等		23	34	23	31	28
	ハ	老人デイサービスセンター等		12	14	18	26	14
	ニ	幼稚園・特別支援学校						8
(7)		小・中・高・大学等		10	24	27	41	21
(8)		図書館・博物館		2	1	3	2	2
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場			1		1	
	ロ	公衆浴場						
(10)		車両の停車場						
(11)		神社・寺院・教会		2	2	2	2	2
(12)	イ	工場・作業場		10	13	12	14	20
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
(13)	イ	自動車庫・駐車場		5	5	2	5	2
	ロ	飛行機の格納庫						
(14)		倉庫		20	16	24	18	11
(15)		前項に該当しない事業場		34	48	49	55	61
(16)	イ	特定防火対象物を含む		26	25	34	28	37
	ロ	複合用途防火対象物		5	11	5	8	13
		その他の複合用途防火対象物						
計				277	339	324	354	369

防火管理者選任、消防計画届出、自衛消防訓練及び立ち入り検査状況

消防訓練及び立ち入り検査、21年度の数値

用 途 項 別			該 当 消 防 法 対 象 物	防 火 管 理 者 選 任	消 防 計 画 届 出	自 営 消 防 訓 練		立 ち 入 り 検 査
						消 火 (1回以上)	避難 (1回以上)	
(1)	イ	劇場・映画館	5	1	1	2	2	
	ロ	公会堂・集会場	30	16	1	2	2	
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ	15	2	1			
	ロ	遊技場・ダンスホール	19	11	11	1	4	1
	ハ	性風俗特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等個室型店舗						
(3)	イ	待合・料理店						
	ロ	飲 食 店	39	15	12	1	1	
(4)		百貨店・マーケット	101	48	44	5	9	1
(5)	イ	旅館・ホテル	29	15	12			
	ロ	寄宿舍・共同住宅	460	46	18			1
(6)	イ	病院・診療所	61	20	15	11	11	
	ロ	老人短期入所施設等	104	56	54	14	16	26
	ハ	老人デイサービスセンター等	34	18	15	30	35	2
	ニ	幼稚園・特別支援学校				5	9	1
(7)		小・中・高・大学等	59	33	29	15	15	
(8)		図書館・博物館	4	3	2			
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1	1	1			1
	ロ	公衆浴場						
(10)		車両の停車場						
(11)		神社・寺院・教会	10	6	4			
(12)	イ	工場・作業場	44	20	12			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	1					
	ロ	飛行機の格納庫						
(14)		倉庫	35	17	6			
(15)		前項に該当しない事業場	156	88	44	4	3	
(16)	イ	特定防火対象物を含む 複合用途防火対象物	173	44	25	3	5	27
	ロ	その他の複合用途防火対象物	36	2				
合 計			1,416	462	307	93	112	60

危険物施設の状況

-予防関係-

平成21年度

製造所等の別 区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所						小計
				屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	小計	給油取扱所(営業用)	給油取扱所(自家用)	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	
施設数		138		7	1	2	17		34	16	77	24	10	2		25	61
5倍以下		52		1		2	4		16	14	37	1	6			8	15
5倍を超え10倍以下		22		2	1		3		9		15		1			6	7
10倍を超え50倍以下		20		4					9	2	15		1	2		2	5
50倍を超え100倍以下		4					2				2		2				2
100倍を超え150倍以下		2										2					2
150倍を超え200倍以下		8										8					8
200倍を超え1,000倍以下		24					3				3	13				8	21
1,000倍を超え5,000倍以下		3					2				2					1	1
5,000倍を超え10,000倍以下		0															0
10,000倍を超えるもの		3					3				3						0
類別	第1類	0															0
	第2類	0															0
	第3類	0															0
	第4類	138		7	1	2	17		34	16	77	24	10	2		25	61
	第5類	0															0
	第6類	0															0

危険物許可等事務処理状況

平成21年度

製造所等の別 区分		製造所	貯蔵所							取扱所						計
			屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所(営業)	給油取扱所(自家)	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	移送取扱所	
許可	設置変更届								1	3	1			4		0
	変更届				2											11
完成検査	設置変更届								1	3	1			3		0
	変更届				2											10
完成検査前検査	水圧試験				2									1		3
	水圧試験															0
	溶接部				1											1
種類数量変更届										6	3			1		10
保安監督者選任・解任届											1					1
譲渡引渡届									1							1
仮使用承認申請										3						3
仮貯蔵・取扱承認申請					3											3
製造所等名称変更届			1					1		3						5
廃止届											1					1
製造所等工事変更届																0
製造所等使用休止届																0
製造所等変更届					6			1		4				2		13
製造所等災害発生届																0
危険作業開始届					1					1				12		14
予防規程制定認可届																0

★ 浦添市防火委員会組織 ★



婦人防火クラブ (7団体)

牧港支部	15
屋富祖支部	15
宮城支部	45
仲西支部	12
小湾支部	10
勢理客支部	12
内間支部	9
沢岷支部	11
前田支部	25
大平支部	22
ニュータウン支部	10
グリーンハイツ支部	13
浅野浦支部	54
合 計	253

幼年消防クラブ (16団体)

勢理客保育園幼年消防クラブ	133
ハイジ保育園幼年消防クラブ	153
あいのその保育園幼年消防クラブ	159
広栄保育園幼年消防クラブ	133
たいよう保育園幼年消防クラブ	103
さつき保育園幼年消防クラブ	35
柿の実保育園幼年消防クラブ	113
牧港ひまわり保育園幼年消防クラブ	135
ありあけ保育園幼年消防クラブ	165
さみどり保育園幼年消防クラブ	99
内間みどり保育園幼年消防クラブ	104
宮城ヶ原保育所幼年消防クラブ	129
小湾保育所幼年消防クラブ	63
大平保育所幼年消防クラブ	131
内間保育所幼年消防クラブ	132
あおい保育園幼年消防クラブ	138
合 計	1,925